

令和2年度
当初予算の概要

～ 交流が拓く 活力あふれる 未来予算 ～



令和2年3月
盛岡市

目 次

1	令和2年度当初予算編成の基本的な考え方	1
(1)	本市の置かれている状況	1
(2)	予算編成の基本的な考え方	2
2	予算の規模	3
(1)	一般会計	3
(2)	特別会計	4
(3)	企業会計	5
3	一般会計予算の概要	6
(1)	歳入の状況	6
	概要／市税／譲与税・交付金／地方交付税 ／国庫・県支出金／市債	
(2)	歳出の状況	10
	概要／人件費／扶助費／公債費／普通建設事業費 ／その他	
(3)	基金の状況	14
(4)	市債残高見込	15
4	重点的に取り組む施策（戦略プロジェクト）	17
(1)	未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト	17
(2)	みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト	22
(3)	2020 あつまる・つながるまちプロジェクト	27
5	主な事業	31
(1)	人がいきいきと暮らすまちづくり	31
(2)	盛岡の魅力があふれるまちづくり	37
(3)	人を育み未来につなぐまちづくり	39
(4)	人が集い活力を生むまちづくり	41
(5)	自治体経営の取組	48
(6)	公共施設保有最適化・長寿命化計画事業等	49

1 令和2年度当初予算編成の基本的な考え方

(1) 本市の置かれている状況

○ 国及び県内の景気動向

令和2年1月の月例経済報告においては、前月と同じく「景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。」と基調判断されました。その上で、先行きについては、「通商問題を巡る動向」や「海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある」など、景気動向の厳しさをうかがわせる内容となっています。

県内の景気については、令和2年1月の県内経済情勢報告によると、前回（令和元年10月）と同様に、生産活動の緩やかな持ち直しや雇用情勢の改善などにより、「県内経済は、緩やかに回復しつつある」とされています。

○ 国の地方財政計画

令和2年2月に国が示した令和2年度地方財政計画^(※1)では、通常収支に係る全体規模が歳出の一般行政経費の補助分の伸びなどにより、1.3%の増とされました。また、自治体が自由に使える一般財源総額については、令和元年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」において、「2018年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保する」とされたところですが、地方税の1.9%の増や地方交付税の2.5%の増により、臨時財政対策債の減はあるものの総額では1.2%の増と、令和元年度を上回る水準が確保された内容となっています。

○ 盛岡市の財政見通し等

予算編成に当たって行った令和2年度の財政見通しにおいては、歳入では、消費税の増税に伴う地方消費税交付金の増加や制度新設による法人事業税交付金の増加（皆増）が見込まれますものの、市税においては、税制改正の影響による法人市民税法人税割の減少が見込まれ、また地方交付税については、合併に係る特例措置の更なる縮減などがあり、特別交付税と合わせて微増に留まるものと見込まれたところです。一方、歳出では、幼児教育・保育の無償化に伴う子育てのための施設等利用給付事業など社会保障関係経費の増加により、歳入歳出の差引による一般財源の総計において、収支不足が見込まれたところです。

また、今後の見通しとして、引き続き社会保障関係経費の増加、野球場や学校給食センターの整備、公共施設保有最適化・長寿命化計画事業の実施などによる建設事業費の増加などが見込まれますことから、今後も厳しい財政状況が続くと予想されます。

なお、国の「骨太の方針2019」においては、地方の歳出改革等の方向性として、公共サービスの広域化・共同化の取組みの推進、業務改革成果の地方交付税算定等への反映、地方財政計画と決算との対応関係の「見える化」による事業効果の検証など、より実効性のある取組が求められているところです。

※1) 「地方財政計画」とは、毎年度、国が作成する地方公共団体全体の歳入歳出の見込みで、地方公共団体の財政運営の指針となるものです。

(2) 予算編成の基本的な考え方

令和2年度の当初予算編成に当たっては、総合計画の目指す将来像である「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」の実現と将来にわたる安定的な財政運営を両立するため、精度の高い予算調整を通じて、限られた財源の有効活用を最大限図りながら、市民生活に必要なサービス水準の確保につながる経費や、戦略プロジェクト事業を含む総合計画の各種施策を推進する事業経費の予算化を図ることとし、あらかじめ「予算編成方針」として具体的に次の方針を示した上で、編成作業を進めました。

① 総合査定方式による予算編成

限られた財源を有効に活用するため、より精度の高い予算見積及び調整を図るために、令和元年度に引き続き「総合査定方式」による予算編成を行うこととし、次に掲げる「性質別による経費の分類化」と、各々の経費毎に予算要求及び調整を行います。

- 経常的経費：毎年度経常的に支出する経費
- 行政推進経費：他の経費に含まれないもので、市民生活向上に結び付く経費
- 計画推進経費：総合計画の推進に必要な経費、新規事業や拡充事業に係る経費等

② 総合計画の推進

市民の誰もがいきいきと暮らし、盛岡のまちに誇りを持てるような都市の実現に向けて、総合計画実施計画や戦略プロジェクト事業等の市が抱える喫緊の課題に対応する計画の事業を優先的に実施することとします。

③ 必要経費の精査の徹底

予算要求に当たって必要額を見積もる際、平成30年度決算や令和元年度決算見込みの状況を踏まえて事業内容を十分に精査するとともに、市民の声や現場の声を生かすことができるよう各部等の長が予算編成に責任を持って、市民視点とコスト意識を持ち、主体的に事業の見直しや改善を推進します。

④ 歳入の確保

市税及び税外収入の適正な賦課、収納率の向上に努めることはもとより、安定的な財政運営を行うには、国庫・県補助金等を積極的に活用するなど、事業構築に当たって歳入の確保を念頭に置くように努めることとします。

⑤ 歳出の削減

限られた財源の重点的かつ効果的な活用を図る必要があることから、事業目的が達成されたものや事業効果が低いと判断される既存事業は、積極的に廃止又は縮小を行い、事務事業の再構築（スクラップ&ビルド）を図ることとします。

⑥ 国・県の施策動向への対応

地方行財政に関する制度の見直しや、国が「骨太の方針 2019」及び「成長戦略実行計画・成長戦略フォローアップ・令和元年度革新的事業活動に関する実行計画」等を踏まえた諸課題に対応するため措置する「新しい日本のための優先課題推進枠」等をはじめとした国や県の施策動向等を的確に把握し、適切な対応を図ります。

2 予算の規模

	令和2年度当初予算額 ①	令和元年度当初予算額②	増減率①/②
一般会計	114,890,000 千円	111,530,000 千円	3.0%
特別会計	57,783,057 千円	56,345,073 千円	2.6%
企業会計	30,131,763 千円	30,302,059 千円	△0.6%
全会計合計	202,804,820 千円	198,177,132 千円	2.3%

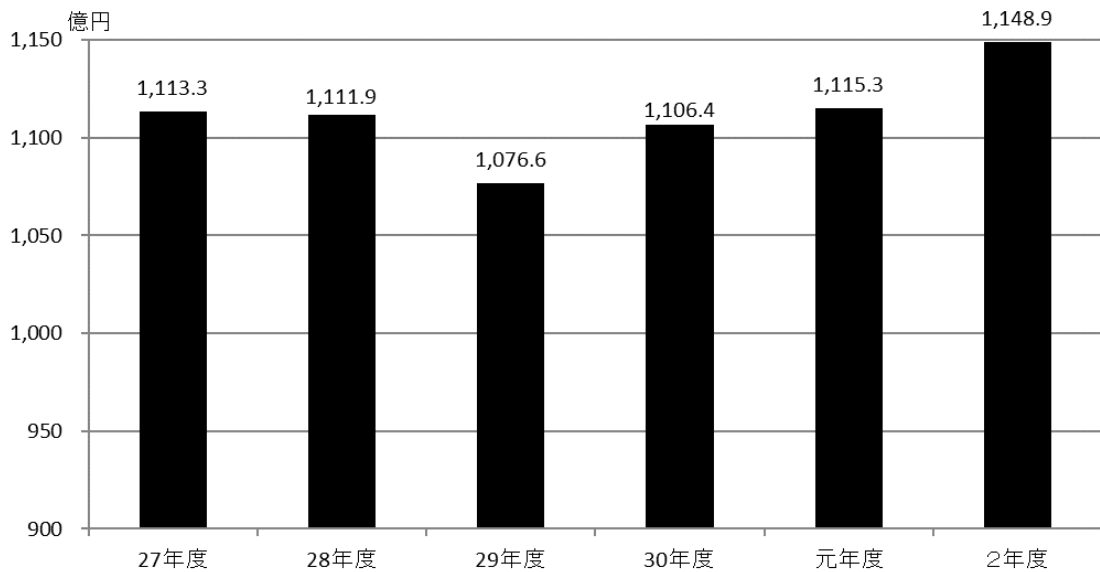
※ 企業会計の予算額については、収益的支出と資本的支出の予算額の合算額を記載しています。

(1) 一般会計

令和2年度当初予算額は、第2子以降の保育料軽減を含む子ども・子育て事業や障がい者の自立支援事業など社会保障関係経費が昨年度に引き続き増加するとともに、盛岡バスセンターや学校給食センターの整備、公共施設保有最適化・長寿命化計画に係る大規模改修工事の実施により、総額では前年度当初予算と比較して、33億6,000万円（3.0%）増の1,148億9,000万円となりました。これは、過去最高の予算規模となっています。

※ 一般会計予算の概要については、6ページ以降に記載しています。

＜予算規模の推移（当初予算ベース）＞



※ 各年度の予算額は、百万円の単位で四捨五入しているため、実際の予算額と異なる場合があります。

＜予算の増減率の推移（当初予算ベース）＞

（単位：％）

年度		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
歳入歳出 予算増減率	盛岡市	5.0	△0.1	△3.2	2.8	0.8	3.0
	地方財政計画	2.3	0.6	1.0	0.3	3.1	1.3

※ 地方財政計画の増減率は、通常分のものになります（震災対応分は含んでいません）。

(2) 特別会計

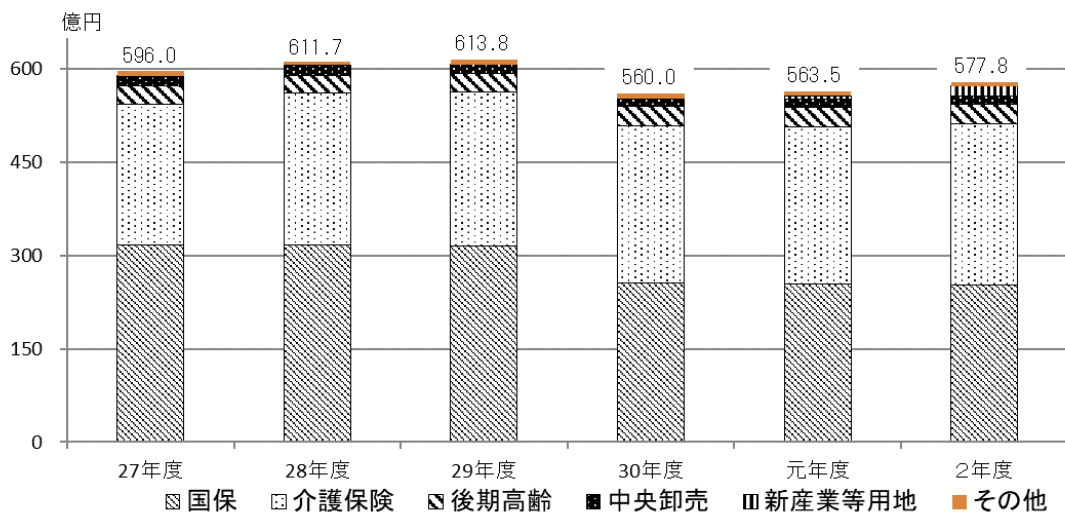
介護保険費特別会計において、施設介護や地域密着型などの介護サービス等給付費の増額が見込まれるとともに、新産業等用地整備事業費特別会計においては、土地開発基金からの用地買戻しなどによる用地整備事業費の増加が見込まれたところです。一方で、国民健康保険費特別会計においては、県へ納付する医療給付費納付金の減などが見込まれたものの、特別会計 11 会計の合計では、前年度当初予算と比較して、14 億 3,798 万 4 千円 (2.6%) 増の 577 億 8,305 万 7 千円となりました。

〈特別会計予算総額の比較（当初予算ベース）〉

(単位：千円)

	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	比較増減	増減率
公設浄化槽事業費	9,962	9,382	580	6.2%
農業集落排水事業費	489,157	491,666	△ 2,509	△0.5%
母子父子寡婦福祉資金貸付 事業費	81,677	197,818	△ 116,141	△58.7%
国民健康保険費	25,250,040	25,430,169	△ 180,129	△0.7%
介護保険費	25,856,710	25,293,138	563,572	2.2%
後期高齢者医療費	3,249,626	3,101,945	147,681	4.8%
中央卸売市場費	1,307,644	1,307,816	△ 172	△0.0%
新産業等用地整備事業費	1,521,567	495,811	1,025,756	206.9%
土地取得事業費	13,303	13,947	△ 644	△4.6%
東中野財産区	2,677	2,677	0	0.0%
東中野, 東安庭, 門財産区	694	704	△ 10	△1.4%
合 計	57,783,057	56,345,073	1,437,984	2.6%

〈特別会計予算総額の推移（当初予算ベース）〉



※ 各年度の予算額は、百万円の単位で四捨五入しているため、実際の予算額と異なる場合があります。

(3) 企業会計

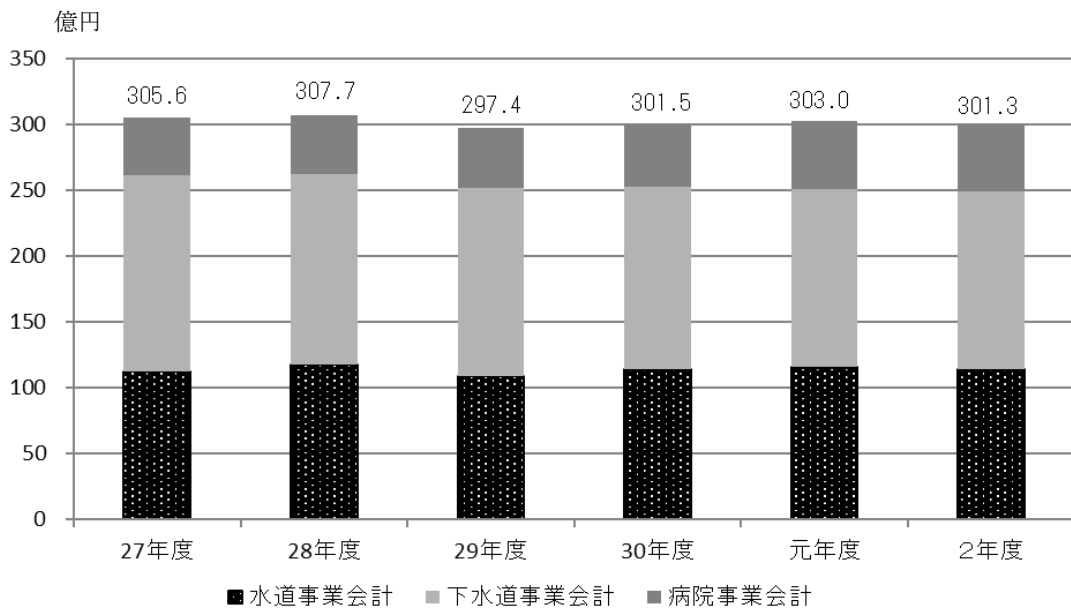
水道事業会計の資本的支出予算における配給水施設の建設費及び改良費の減額のほか、下水道事業会計の資本的支出予算における企業債償還元金が減額となったことなどにより、企業会計3会計における各々の収益的支出予算額と資本的支出予算額の合計でも、前年度当初予算との比較で1億7,029万6千円(0.6%)減の、301億3,176万3千円となりました。

〈企業会計支出予算額(合計)の比較(当初予算ベース)〉

(単位:千円)

		令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	比較増減	増減率
水道 事業	収益的支出	6,154,140	6,186,080	△31,940	△0.5%
	資本的支出	5,276,121	5,377,835	△101,714	△1.9%
	支出計	11,430,261	11,563,915	△133,654	△1.2%
下水道 事業	収益的支出	8,060,201	8,008,178	52,023	0.6%
	資本的支出	5,455,033	5,532,146	△77,113	△1.4%
	支出計	13,515,234	13,540,324	△25,090	△0.2%
病院 事業	収益的支出	4,461,600	4,414,319	47,281	1.1%
	資本的支出	724,668	783,501	△58,833	△7.5%
	支出計	5,186,268	5,197,820	△11,552	△0.2%
合計	収益的支出	18,675,941	18,608,577	67,364	0.4%
	資本的支出	11,455,822	11,693,482	△237,660	△2.0%
	支出計	30,131,763	30,302,059	△170,296	△0.6%

〈企業会計支出予算額(合計)の推移(当初予算ベース)〉



※ 各年度の予算額は、百万円の単位で四捨五入しているため、実際の予算額と異なる場合があります。

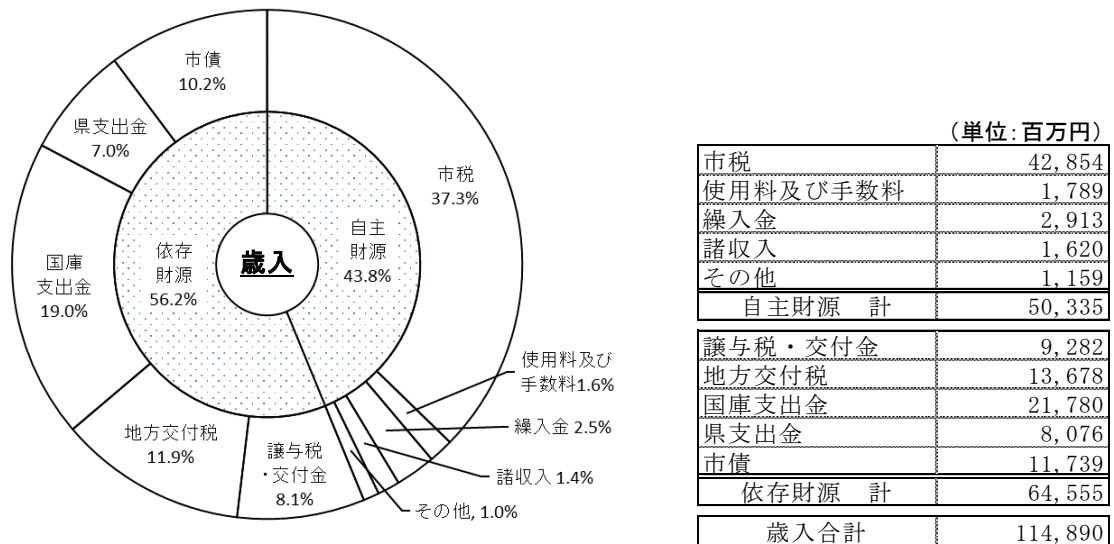
3 一般会計予算の概要

(1) 歳入の状況

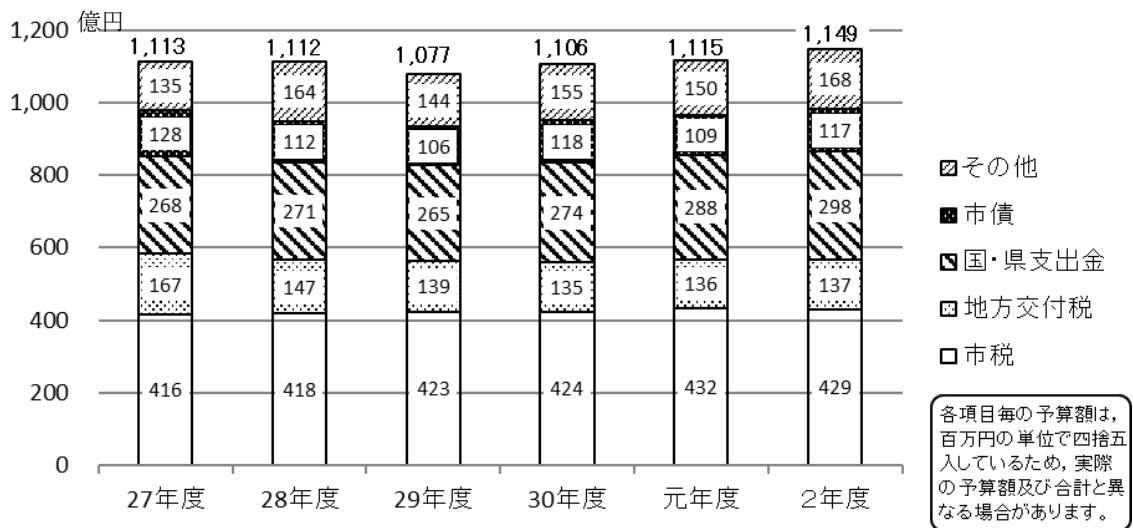
歳入全体では、市税等の自主財源^(※2)については、市税は3億141万9千円の減額が見込まれますが、基金からの繰入金^(※3)の増額などにより、前年度当初予算と比較して、1億5,716万5千円、0.3%の増となる見込みです。なお、歳入全体に占める自主財源の割合は、前年度当初予算と比較して、1.2ポイント減の43.8%となっています。

また、依存財源^(※3)については、地方消費税交付金のほか、国庫や県支出金、市債などが増額と見込まれることから、地方特例交付金などの減額が見込まれるものの、32億283万5千円、5.2%の増となる見込みです。

＜2年度歳入予算の構成＞



＜歳入項目毎の推移（当初予算ベース）＞



※2) 自主財源：市税や市施設の利用料などのように、市が自主的に徴収できる財源をいいます。

※3) 依存財源：地方交付税、国や県の交付金などのように、一定の額が交付されたり、割り当てられる財源をいいます。

① 市税 428億5,424万5千円（元年度 431億5,566万4千円）

市税収入は、市民税では、納税義務者の増に伴う個人市民税の増収のほか、税制改正に伴う市民税法人税割の減収を、固定資産税については、新築家屋の堅調な推移をもとに家屋課税の増収を、また、令和元年10月から導入された環境性能割の導入に伴う軽自動車税の増収を見込んだところです。その結果、市税総額では対前年度比で3億141万9千円、0.7%の減収となる見通しとなりました。

<主要税目毎の収入見込額>

(単位：千円)

	令和2年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	増減額	増減率
個人市民税	16,759,341	16,625,115	134,226	0.8%
法人市民税	4,069,997	4,740,493	△670,496	△14.1%
固定資産税	16,988,611	16,788,068	200,543	1.2%
軽自動車税	712,414	652,743	59,671	9.1%
市たばこ税	1,923,650	1,982,076	△58,426	△2.9%
入湯税	55,887	52,718	3,169	6.0%
都市計画税	2,146,763	2,115,212	31,551	1.5%
その他	197,582	199,239	△1,657	△0.8%
計	42,854,245	43,155,664	△301,419	△0.7%

② 譲与税・交付金 92億8,295万1千円（元年度 80億5,563万3千円）

令和元年度の決算見込額等をもとに、総務省から示される地方財政計画の内容等を勘案して推計した結果、地方消費税交付金については消費税増税に伴う増額が見込まれるほか、税制改正に伴う法人市民税法人税割の減収分に対する補てんのために創設された法人事業税交付金による増などにより、幼児教育・保育の無償化に伴って元年度のみの措置とされた子ども・子育て支援臨時交付金（地方特例交付金）の減などがあるものの、対前年度比では12億2,731万8千円、15.2%の増となる見通しです。

<主な項目毎の収入見込額>

(単位：千円)

	令和2年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	増減額	増減率
地方譲与税	991,137	890,070	101,067	11.4%
利子割交付金	27,676	68,665	△40,989	△59.7%
配当割交付金	95,850	97,079	△1,229	△1.3%
法人事業税交付金	360,727	—	360,727	皆増
地方消費税交付金	7,388,953	6,217,377	1,171,576	18.8%
環境性能割交付金	66,433	110,098	△43,665	△39.7%
地方特例交付金	215,771	508,482	△292,711	△57.6%
その他	136,404	163,862	△27,458	△16.8%
計	9,282,951	8,055,633	1,227,318	15.2%

※ 環境性能割交付金の令和元年度の額には、令和元年10月で廃止された自動車取得税交付金分を含む。

③ 地方交付税 136億7,811万9千円（元年度 136億4,386万4千円）

地方交付税は、総務省から示される地方財政計画の内容や本市の税収見込み、過年度の交付状況等を勘案して推計した結果、普通交付税と特別交付税を合わせた総額で、対前年度比で3,425万5千円、0.3%の増となる見通しです。

なお、交付税の代替財源であり、後年度に元利償還金が交付税措置されることから、実質的に普通交付税に含まれる臨時財政対策債を加えた額では、前年度比で1,925万円、0.1%の増となる見通しです。

〈地方交付税の交付見込額〉 (単位：千円)

	令和2年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	増減額	増減率
地方交付税総額	13,678,119	13,643,864	34,255	0.3%
普通交付税	12,261,118	12,283,728	△22,610	△0.2%
特別交付税	1,417,001	1,360,136	56,865	4.2%
臨時財政対策債	4,128,776	4,143,781	△15,005	△0.4%
計	17,806,895	17,787,645	19,250	0.1%

④ 国庫・県支出金 298億5,551万2千円（元年度 288億774万5千円）

幼児教育・保育の無償化に伴う扶助費に対する負担金の増や個人番号カード交付に係る補助金などがあり、事業終了に伴うプレミアム付商品券補助金の減などが見込まれるものの、国庫支出金と県支出金の合計額では、対前年度比で10億4,776万7千円、3.6%の増となる見通しです。

〈国庫・県支出金の交付見込額〉 (単位：千円)

	令和2年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	増減額	増減率
国庫支出金 計	21,779,894	20,887,085	892,809	4.3%
扶助費分	16,677,659	15,810,126	867,533	5.5%
普通建設事業分	3,752,350	3,757,018	△4,668	△0.1%
その他分	1,349,885	1,319,941	29,944	2.3%
県支出金 計	8,075,618	7,920,660	154,958	2.0%
扶助費分	5,178,229	4,618,179	560,050	12.1%
普通建設事業分	327,220	760,788	△433,568	△57.0%
その他分	2,570,169	2,541,693	28,476	1.1%
計	29,855,512	28,807,745	1,047,767	3.6%

【増減額が大きい主な項目（国庫支出金）】

※ () 内の数字は対前年度増減額

- 子どものための教育・保育給付費負担金 4,018,988千円 (612,081千円増)
- 子育てのための施設等利用給付負担金 234,305千円 (皆増)
- 個人番号カード交付補助金（事業費・事務費） 286,994千円 (209,581千円増)

- 道路事業補助金（無電柱化推進計画補助金等） 242,319千円（皆増）
- 障がい者自立支援事業費負担金 2,801,572千円（154,133千円増）
- 障がい児通所給付費等負担金 531,079千円（114,452千円増）
- 児童扶養手当負担金 406,532千円（△108,401千円）
- 保育所等整備交付金 128,438千円（△113,172千円）
- 幼稚園就園奨励費補助金 0千円（△131,667千円～皆減）
- プレミアム付商品券補助金（事業費・事務費） 0千円（△386,796千円～皆減）

【増減額が大きい主な項目（県支出金）】

- 子どものための教育・保育給付費負担金 2,009,494千円（305,945千円増）
- 統計調査委託金 154,583千円（115,977千円増）
- 子育てのための施設等利用給付負担金 112,567千円（皆増）
- 障がい者自立支援事業費負担金 1,400,785千円（77,066千円増）
- 障がい児通所給付費等負担金 265,539千円（57,226千円増）
- 盛岡南公園野球場整備事業費県負担金 52,231千円（42,510千円増）
- 選挙負担金（県知事選挙等） 0千円（△164,573千円～皆減）
- 子育て支援対策臨時特例事業費補助金 0千円（△309,320千円～皆減）

⑤ 市債 117億3,877万6千円（元年度 108億4,528万1千円）

市債発行額は、臨時財政対策債は減となりましたが、学校施設整備や（仮称）学校給食センター建設事業、旧清掃工場の施設解体工事の実施などに係る市債発行が増額となったことから、前年度比で8億9,349万5千円、8.2%の増となる見通しです。

<市債の発行見込額及び市債依存度>

（単位：千円）

	令和2年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	増減額	増減率
市債合計（A）	11,738,776	10,845,281	893,495	8.2%
臨時財政対策債	4,128,776	4,143,781	△15,005	△0.4%
その他（事業債）	7,610,000	6,701,500	908,500	11.9%
歳入合計（B）	114,890,000	111,530,000	3,360,000	3.0%
市債依存度（A/B）	10.2%	9.7%	（0.5ポイント増）	
臨時財政対策債を除く	6.6%	6.0%	（0.6ポイント増）	

【「その他（事業債）」に係る市債発行額の増に係る主な事業】

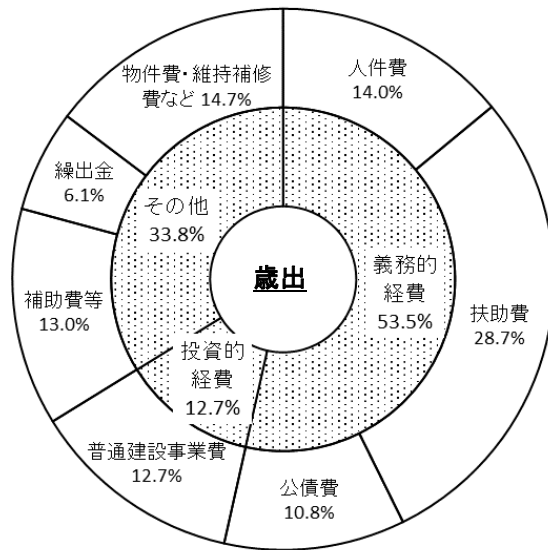
- 盛岡南公園野球場整備事業 62,500千円（皆増）
- 旧清掃工場施設解体事業 228,600千円（224,400千円増）
- 区画整理事業関係（地方道路等整備事業債） 1,603,500千円（136,900千円増）
- 飯岡小学校施設整備事業 244,200千円（223,600千円増）
- （仮称）学校給食センター建設事業 156,700千円（151,000千円増）

(2) 歳出の状況

歳出のうち、義務的経費^(※4)は、公債費は減額となったものの、扶助費が引き続き伸びる見込みであるとともに、会計年度任用職員制度の導入に伴う人件費の増などにより、前年度当初予算と比較して、22億3,370万円、3.8%の増となる見込みです。なお、歳出全体に対する義務的経費の割合は53.5%と、前年度に比べると0.3ポイントの増となっています。

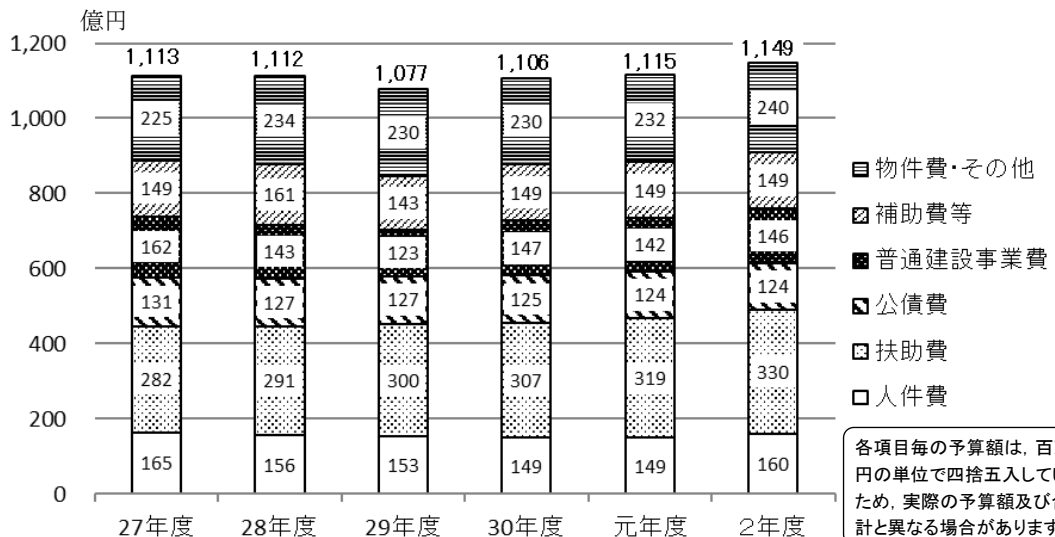
投資的経費^(※5)は、盛岡南公園野球場やJR田沢湖線新駅、飯岡小学校施設など、新規又は工事の本格化に伴い、3億8,774万5千円、2.7%の増となる見込みです。

〈2年度歳出予算の構成〉



人件費	16,042
扶助費	33,009
公債費	12,443
義務的経費計	61,494
普通建設事業費	14,566
投資的経費計	14,566
補助費等	14,879
繰出金	7,050
物件費	14,331
維持補修費	860
積立金	974
投資、出資及び貸付金	686
予備費等	50
その他計	38,830
歳出合計	114,890

〈歳出項目毎の推移 (当初予算ベース)〉



※4) 義務的経費：職員などの人件費、生活扶助などの各種扶助に要する扶助費、市の借入金返済に充てる公債費のことです。

これらの経費は経常的に歳出が義務づけられ、あるいは任意に削減することができない経費であり、この割合が高くなると、財政構造の硬直化を招くおそれがあります。

※5) 投資的経費：道路、学校、公営住宅の建設等その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費のことです。

① 人件費 160億 4,171万 9千円 (元年度 149億 3,831万 4千円)

従来の臨時的任用職員が会計年度任用職員に制度的に切り替わることによって、その経費区分が物件費から人件費に変更されたことなどによる増や、各種業務の増加に対応する職員定数及び会計年度任用職員の増、定年退職者に係る退職手当の増などにより、2年度では、前年度予算と比較して、11億 340万 5千円、7.4%の増となっています。

〈人件費の推移〉

(単位：百万円)

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
人件費	16,462	15,574	15,306	14,858	14,938	16,042
対前年度増減額	584	△888	△268	△448	80	1,104
対前年度比	3.7%	△5.4%	△1.7%	△2.9%	0.5%	7.4%

② 扶助費 330億 960万 8千円 (元年度 318億 6,941万 9千円)

認定こども園等への運営費給付事業が対象施設の増加により増額見込みとなったほか、障がい者自立支援等のための給付事業の増に加え、中学生医療費について、2年度から現物給付方式の導入を始めることから、児童扶養手当支給事業など減額する事業があるものの、前年度予算と比較して11億 4,018万 9千円、3.6%の増となっています。

〈扶助費の推移〉

(単位：百万円)

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
扶助費	28,226	29,074	30,038	30,655	31,869	33,010
対前年度増減額	898	848	964	616	1,214	1,141
対前年度比	3.3%	3.0%	3.3%	2.1%	4.0%	3.6%

【増減額が大きい主な事業】 ※ ()内の数字は対前年度増減額

- 認定こども園等運営費給付事業 4,028,665千円 (987,047千円増)
- 子育てのための施設等利用給付事業 493,951千円 (皆増)
- 障がい者自立支援事業 5,904,508千円 (232,496千円増)
(介護給付費等給付事業など3事業)
- 障がい児通所給付費等給付事業 1,062,285千円 (228,893千円増)
- 私立児童福祉施設運営費助成事業 263,396千円 (182,150千円増)
- 児童手当支給事業 4,012,970千円 (△131,420千円)
- 保育所管理運営事業 129,723千円 (△166,045千円)
- 幼稚園就園奨励補助事業 0千円 (△289,312千円～皆減)
- 児童扶養手当支給事業 1,219,598千円 (△325,202千円)

③ 公債費 124億 4,275万 1千円 (元年度 124億 5,264万 5千円)

平成6年度に、学校施設整備に伴って借入れた資金(義務教育施設整備事業債)の償還終了などにより、臨時財政対策債などの償還額の増加はあるものの、前年度予算と比較して989万4千円、0.1%の減となっています。

なお、市債の発行にあたっては、市債残高が増えないよう取り組むほか、後年度にその元利償還金の一部が地方交付税で措置される市債を発行し、実質的な負担軽減に努めており、令和2年度の市債償還金に算入される交付税額は、78億円程度と試算しています。

〈公債費の推移〉

(単位：百万円)

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
公債費	13,063	12,697	12,708	12,545	12,453	12,443
対前年度増減額	△409	△366	11	△164	△92	△10
対前年度比	△3.0%	△2.8%	0.1%	△1.3%	△0.7	△0.1

④ 普通建設事業費 145億 6,597万 5 千円 (元年度 141億 7,823万円)

補助事業については、JR田沢湖線新駅整備の増などがあるものの、私立児童福祉施設の整備や増改築、大規模修繕に係る補助金の減により、対前年度比では6.0%の減となりました。また、単独事業については、盛岡南公園野球場整備事業や盛岡バスセンター整備事業のほか、公共施設保有最適化・長寿命化計画に基づく仁王小学校や城西中学校の大規模改修事業などの実施により、対前年度比では15.3%の増となりました。

この結果、普通建設事業費では、対前年度比で3億 8,774万 5 千円、2.7%の増となったところです。

〈普通建設事業費の推移〉

(単位：百万円)

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
普通建設事業費	16,162	14,349	12,313	14,736	14,178	14,566
補助事業	9,722	8,602	7,510	7,764	8,350	7,848
単独事業	6,440	5,747	4,803	6,972	5,828	6,718
対前年度増減額	1,757	△1,813	△2,036	2,423	△558	388
補助事業	1,470	△1,120	△1,092	253	586	△502
単独事業	287	△693	△944	2,170	△1,144	890
対前年度比	12.2%	△11.2%	△14.2%	19.7%	△3.8%	2.7%
補助事業	17.8%	△11.5%	△12.7%	3.4%	7.6%	△6.0%
単独事業	4.7%	△10.8%	△16.4%	45.2%	△16.4%	15.3%

※ 補助事業とは、国及び県の補助を受けて市が行う事業です。

単独事業とは、市が単独で行う事業です(県の補助金を活用する場合があります)。

【増減額が大きい主な事業(補助事業)】※ ()内の数字は対前年度増減額

- 公共交通利用促進対策事業(JR田沢湖線新駅) 234,094千円(皆増)
- 都南中央第三地区土地区画整理事業(交付金) 486,790千円(216,790千円増)
- 飯岡小学校施設整備事業 185,126千円(皆増)
- 高松保育園増改築工事 144,491千円(皆増)
- 交通安全・無電柱化等補助事業 132,530千円(皆増)
- 都市基盤河川改良事業(交付金) 462,000千円(△120,000千円)

- (仮称) 飯岡児童センター建設工事 0千円 (△177,385千円～皆減)
- 私立児童福祉施設整備・増改築・大規模修繕 0千円 (△828,313千円～皆減)

【増減額が大きい主な事業 (単独事業)】

- 盛岡南公園野球場整備事業 118,575千円 (皆増)
- 盛岡バスセンター整備事業 128,851千円 (皆増)
- 都南中央第三地区土地区画整理事業 424,851千円 (183,666千円増)
- 飯岡小学校施設整備事業 221,811千円 (193,753千円増)
- 仙北中学校第二屋内運動場等整備事業 238,046千円 (203,165千円増)
- (仮称) 盛岡学校給食センター建設事業 222,761千円 (194,990千円増)
- 公共施設保有最適化・長寿命化計画に係る事業
 - 総合プール改修事業 533,811千円 (529,661千円増)
 - 仁王小学校校舎長寿命化改修事業 375,944千円 (皆増)
 - 大新小学校校舎長寿命化改修事業 645,532千円 (194,484千円増)
 - 城西中学校校舎長寿命化改修事業 418,590千円 (皆増)
 - サンライフ盛岡大規模改修事業 0千円 (△298,385千円～皆減)
 - 都南勤労福祉会館大規模改修事業 0千円 (△271,791千円～皆減)
 - 中央公民館複合化・大規模改修事業 17,224千円 (△958,603千円)

⑤ その他

物件費については、ロタウィルスワクチンの定期接種化や風しんに係る追加的対策による感染症予防事業及び予防接種事業の増、旧清掃工場施設解体事業の増はあるものの、市長・市議会議員選挙外2つの選挙事務やプレミアム付商品券事業の終了のほか、会計年度任用職員制度の導入に伴う人件費への経費区分の変更による減などにより、1億2,468万4千円、0.9%の減となっています。

積立金については、新産業等用地に係る土地売却収入を、用地造成等の財源として発行した市債の償還財源に充てるため、特別会計から一般財源に繰り出した上で、一旦市債管理基金へ積立てることなどにより、対前年度比で5億9,906万6千円、159.9%の増となっています。

繰出金については、介護保険料軽減対象の拡大などに伴う介護保険費特別会計への繰出金の増などにより、3億615万8千円、4.5%の増となっています。

(3) 基金の状況

盛岡市では、災害等の予期していなかった事態への対応や事業を計画的に推進するためにいくつかの基金を設置し、その目的に沿って積立てや取崩しを行いながら、事業の推進に役立てています。それらの基金の中でも「財政調整基金」「市債管理基金」「公共施設等整備基金」の3つの基金については、用途がそれほど限定されておらず様々な財政需要に比較的柔軟に対応できる基金として、主要3基金としています。

- 財政調整基金 : 不測の収入減や災害等の急な支出増加に対応するための基金
- 市債管理基金 : 市債の償還のための基金
- 公共施設等整備基金 : 公共施設の整備のための基金

令和2年度においては、公共施設保有最適化・長寿命化計画事業に係る大規模改修工事などの財源として、公共施設等整備基金から8億3,803万7千円を取り崩したほか、歳入歳出の財源調整分などとして、財政調整基金から12億7,855万4千円を取り崩すこととしました。

令和2年度末の各基金の残高見込みについては下表のとおりとなります。

なお、市債管理基金については、新産業等用地整備事業費特別会計で行っている用地造成等の財源として発行した市債に係る後年度の償還財源に充てるため、令和2年度の土地売払収入を特別会計から一般会計に繰入れた上で、市債管理基金に積立てることとしたため、2年度末の残高が大幅に増額となる見込みとなっています。

〈基金の年度末残高見込〉

(単位：千円)

	元年度末 残高見込額	2年度予算		2年度末 残高見込額	
		取崩額	積立額		
主 要 3 基 金	財政調整基金	7,728,413	1,278,554	34,047	6,483,906
	市債管理基金	343,587	3,719	559,209	899,077
	公共施設等整備基金	2,477,455	838,037	278	1,639,696
	計	10,549,455	2,120,310	593,534	9,022,679
その他特定目的基金		2,459,661	208,178	380,104	2,631,587
合計		13,009,116	2,328,488	973,638	11,654,266

※)「元年度末残高見込額」は、令和元年度3月追加補正後時点での見込みとなります。

基金については、今後においても社会保障関連経費や公共施設保有最適化・長寿命化計画事業の増が見込まれる中で、災害等の不測の事態に対応できるよう、適正な基金規模を維持しながら、効果的な活用を図ることとしています。

(4) 市債残高見込

盛岡市では、総合計画の「自治体経営の取組」において、「毎年度の新規市債発行額を、臨時財政対策債^(※6)を除き予算総額の8%以内かつ元金償還額以内とするよう努め、市債残高の縮減を目指します」としています。

令和2年度一般会計当初予算においては、盛岡南公園野球場整備事業や（仮称）学校給食センター建設事業、旧清掃工場施設解体事業などの実施とともに、引き続き公共施設保有最適化・長寿命化計画に基づく大規模改修工事などに取り組むため、市債発行が8.2%の増となり、臨時財政対策債を除いた新規市債発行額は76億1,000万円、予算総額に対して6.6%の割合となったところです。また、臨時財政対策債以外の事業債に係る元金償還額が減少しているため、新規市債発行額が元金償還額を超える見込みとなっています。

一般会計における令和2年度末の残高見込み1,303億421万9千円を、市民一人当たりで見ると、約45万2,000円となる見込みです。

※) 住民基本台帳人口（令和2年1月31日現在）288,268人で計算。

〈市債の年度末残高見込〉

（単位：千円）

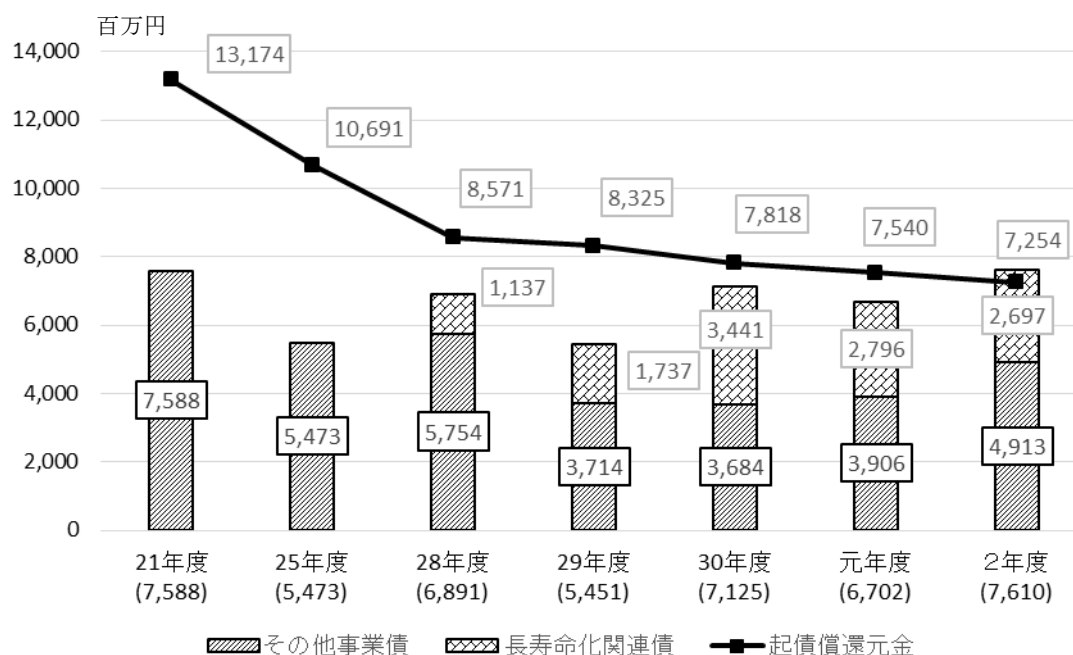
	元年度末 残高見込額	2年度中増減		2年度末 残高見込額
		発行見込額	償還見込額	
一般会計	131,554,632	11,738,776	11,564,301	131,729,107
事業債分	79,059,426	7,610,000	7,254,094	79,415,332
臨時財政対策債分	52,495,206	4,128,776	4,310,207	52,313,775
特別会計	6,572,495	977,120	1,033,475	6,516,140
公設浄化槽事業費 特別会計	70,390	0	2,352	68,038
農業集落排水事業費特 別会計	2,449,046	0	326,628	2,122,418
母子父子寡婦福祉資金 貸付事業費特別会計	282,234	14,920	32,207	264,947
中央卸売市場費特別会 計	3,589,525	0	672,288	2,917,237
新産業等用地整備事業 費特別会計	181,300	962,200	0	1,143,500
企業会計	47,061,690	1,357,900	5,193,743	43,225,847
水道事業会計	8,429,662	0	1,414,067	7,015,595
下水道事業会計	34,282,730	1,178,900	3,234,872	32,226,758
病院事業会計	4,349,298	179,000	544,804	3,983,494

※ 「元年度末残高見込額」は、令和元年度3月追加補正後時点での見込みとなります。今後の補正予算や事業費の繰り越しなどに伴う増減は考慮されていません。

市債については、限りのある一般財源（※7）の負担を極力抑えながら、総合計画や公共施設の保有最適化・長寿命化計画等に沿った事業の実施を図るため、今後においても一定のルールの下での新規発行が必要となります。これまで、元金償還額以内の借入れを主なルールとしてきましたが、元金償還額の減少が続く中、その範囲内での新規市債発行では、将来のまちづくりに必要な投資に影響を与えることが見込まれます。そのため今後においては、元金償還額以内の新規市債発行の外に、予算段階においては引き続き市債依存度の状況を、決算段階においては実質公債費比率や将来負担比率の状況を注視・分析しながら、予算編成に反映させることとし、総合的に対応してまいります。

また、個別の地方債の活用にあたっては、後年度の償還に係る負担を意識し、例えば国が公共施設等の適正管理に係る財政措置として拡充を進めている「公共施設等適正管理推進事業債」などの、元利償還金に対して地方交付税措置のある地方債の優先的な活用を図ることとしています。

〈参考：当初予算における元金償還額と新規市債発行額の推移（臨時財政対策債を除く）〉



※) 年度の下の () 内の数字は、各年度の新規市債発行額の合計額です。

※) 各年度の金額は、百万円単位で四捨五入しているため、実際の予算額と異なる場合があります。

※6) 臨時財政対策債：地方財源の不足に対応するため、地方財政法第5条の特例として発行されるもので、各年度の臨時財政対策債の発行可能額については、普通交付税の算定に合わせて国から通知されます。本来は、地方交付税に含まれるものの一部を、臨時財政対策債として各地方公共団体に借り入れるものであり、その元利償還金相当額については、全額が後年度の地方交付税の基準財政需要額に算入する措置がされます。

※7) 一般財源：市が用途を自由に決められる収入（財源）をいいます。主なものとしては、市税、地方譲与税、地方交付税、地方消費税交付金などがあります。一方、国からの補助金などの国庫支出金、県支出金、地方債などのように、ある目的で支出される経費の財源として、特定される収入（財源）のことを「特定財源」といいます。

4 重点的に取り組む施策（戦略プロジェクト）

盛岡市総合計画では、より効果的に計画を推進するために、盛岡市として施策を横断して戦略的に取り組むべき事柄について「戦略プロジェクト」としてまとめ、概ね3年を目途に、優先的に事業に取り組むこととしています。

予算編成においても、総合計画の目指す将来像である「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」の実現に向け、総合計画の推進と歩調を合わせ、限られた財源を最大限有効に活用する必要があることから、令和2年度当初予算編成においては、新たに取り組むとされた「未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト」や、前年度から引き続き取り組むとされた「みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト」「2020 あつまる・つながるまちプロジェクト」の、合わせて3つのプロジェクトに対して、重点的な予算の配分に努めました。

(1) 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト

1,178,549千円

盛岡の産業基盤の安定化，地場産業の魅力の向上，経営基盤強化のための支援を行い，若者を中心とした盛岡で働く人と場を創出することにより地域経済の活性化と人口流出の抑制を図り，持続可能な活力あふれるまちづくりを推進するための戦略プロジェクトです。

具体的な事業名及び事業費

□ 工場新設拡充等事業（未来創造産業拠点形成調査事業）【新規】

2,000千円

（ものづくり推進課）

企業へのアンケート調査を実施し、盛岡の環境を踏まえた立地意向や市への要望を収集分析し、新たな産業集積や企業の誘致を図ります。

□ 雇用対策推進事業（魅力ある職場づくり推進事業）【新規】（経済企画課）

1,096千円

市内企業を対象に、ICTの活用も含めた働き方改革に資する研修会を開催するなど、ワーク・ライフ・バランスを実現することにより、働く人にとって魅力的な職場となるための支援を行い、人材の定着を図ります。

□ 農業生産対策事業（スマート農業導入促進事業）【新規】（農政課）

3,000千円

農業用ドローン本体とオペレーター認定を取得する経費の一部を助成し、農業用ドローンの活用を促進することによって、農作業の効率化と生産性の向上を図るとともに新たな担い手の確保に繋がります。また、生産条件が不利な中山間地域で、圃場分散型農業の対応策としての活用を推進します。

- 盛岡りんご担い手バックアップ事業 500 千円
（りんご剪定作業担い手育成補助金）【新規】（農政課）

生産者の高齢化に伴い、盛岡りんごの担い手が減少し供給力の低下が懸念されることから、剪定作業の担い手の確保や生産技術の継承のため、新規作業従事者の補助を行い、農家経営の安定化を図ります。

- 農業改良普及事業（輸出支援事業）【新規】（農政課） 150 千円

輸出支援に関するセミナーやフォーラムを開催し、生産者の意欲喚起や輸出に向けた機運醸成を図ります。

- 成長分野拠点形成支援事業【拡充】（ものづくり推進課） 33,230 千円

成長分野と位置付けている医療福祉機器製造業等の研究開発型企業の集積を図るため、海外展開を目指す新事業に対しての助成、ヘルスケア産業協議会の活動のほか、企業集積の誘引力となるクラスター形成への支援として、新たにインターンシップ事業と受託者の自主事業により、高度人材の地元定着に取り組みます。

- 食と農のバリューアップ推進事業【拡充】（食と農の連携推進室） 25,197 千円

生産者、事業者、消費者が一体となった「美食王国もりおか」の実現に向け、引き続き食と農の連携に取り組むとともに、盛岡産農畜産物のPR活動の充実によるさらなる認知度の向上や6次産業化の手法を学ぶセミナー開催などの支援を拡充し、生産者の所得向上と食関連産業の活性化を図ります。

- 新規就農支援事業（農政課） 18,958 千円

農業を始めようとする人を対象に就農相談を行うとともに、国の農業次世代人材投資資金及び盛岡市親元就農給付金制度を継続することで、新規就農者への支援の充実を図り、担い手の育成と新規就農者の確保に取り組みます。

- 盛岡の食材プロモーション事業（食と農の連携推進室） 2,416 千円

盛岡産農畜産物の情報発信の強化とファンの拡大を図るため、市内の農業生産者と飲食店・ホテルなどとの商談会・シェフツアーの開催、盛岡の美味しいもんアンバサダー認定制度を運営します。また、令和2年度は、ホストタウンおもてなしとして、東京2020オリンピック事前キャンプにおいて盛岡産食材を使ったおもてなしを行います。

- 林業労働対策事業（林政課） 494 千円

高校生を対象に、仕事としての林業の魅力を発信し、担い手確保につなげるために林業・木材産業の関連事業所の見学会（森のしごと見学会）を実施します。

- 雇用対策推進事業（もりおか就職ガイダンス／盛岡地域雇用開発協会負担金）（経済企画課） 1,387千円

「もりおか就職ガイダンス」の開催や「盛岡企業ガイドブック」の発行により、就職を希望する若者に対して盛岡市域の企業情報を発信し、地元就職の支援を行うとともに、企業の人材確保を図ります。

- 雇用対策推進事業（U・Iターン、移住支援事業）（経済企画課） 8,386千円

ふるさといわて定住財団が開催する「岩手県U・Iターンフェア」に出展し、U・Iターンを希望する方に対する情報提供等を行うとともに、岩手県と共同で実施する移住支援事業により、東京圏からの移住者に対して移住支援金を支給し、移住の促進に取り組みます。

- 若者の就業支援事業（高校生インターンシップ・スキルアップ／高校生地元就職フォローアップ事業）（経済企画課） 2,347千円

高校生に対して、将来の進路や働き方を考え、現実的な職業観の形成を図るとともに、地元企業の魅力に触れてもらうため、インターンシップや研修会を開催するほか、地元企業で働く若手社員の日常を紹介するなどした「モリオカシゴトカメラ」を配布し、地元で働く魅力を伝えるなどして、若者の地元定着を図ります。

- 若者の就業支援事業（ジョブカフェいわて運営事業）（経済企画課） 5,004千円

若者に対し、きめ細かな就職相談や職業意識の啓発を行うとともに、就職に関する情報提供を行うため、岩手県が設置する「ジョブカフェいわて」にカウンセラー1名を配置し、就職等に関するカウンセリング等を行います。

- 若者の就業支援事業（新社会人就職定着支援事業）（経済企画課） 1,975千円

就職後3年目までの若手社員を中心に、コミュニケーションスキル向上研修、キャリア開発研修等を行うことにより、職場への定着を支援します。

- 若者の就業支援事業（若者等地元定着強化事業）（経済企画課） 3,399千円

市内の企業の情報発信力及び採用力の向上を図るため、自社の魅力の伝え方や、ターゲットを明確にした採用活動の方法に関する研修等を実施し、市内企業の人材確保を支援します。

- 中小企業人材育成支援事業（経済企画課） 200千円

地域イノベーションの創出を促し、事業者の経営力を強化するため、東北大学大学院地域イノベーションプロデューサー塾等において開催する研修に盛岡市内の中小企業の役員・社員が受講する場合の受講料の一部を補助します。

- 工場新設拡充等事業（ものづくり推進課） 54,700 千円

各種助成などにより、市の区域内における工場・事務所等の新設・拡充を奨励し、産業の振興と雇用の促進を図るとともに企業の誘致を推進します。

- 工業振興事業（製造業及び情報サービス業市場開拓等事業補助金）
（ものづくり推進課） 800 千円

中小企業が市場開拓や販路拡大を目的として、国内外の展示会や見本市へ自社製品やサービスを出展する際に必要となる経費に対する補助制度を実施し、地元企業の競争力の強化を推進します。

- 工業振興事業（企業サポート専門員）（ものづくり推進課） 2,877 千円

工業振興ビジョンを推進するため、市内企業を訪問し、それぞれの企業が持つ課題の解決を支援するとともに、事業承継の促進を図り工業の振興に取り組みます。

- 産業支援事業（ものづくり推進課） 1,219 千円

大学等との産学共同研究により新たな価値の創造やニーズの発掘につながる、新規性・独創性のある取り組みに対し、経費の一部を助成します。

- ものづくり産業魅力向上事業（ものづくり推進課） 2,122 千円

盛岡地域で生まれた優れた工芸品の普及、商品力の向上を図るため、首都圏等の展示施設及び海外において、実演販売等による出展を行うとともに、盛岡手づくり村に情報を集約し、ものづくりの面白さや魅力発信の強化を図ります。

- ものづくり人材育成事業（ものづくり推進課） 138 千円

ものづくりを担う人材を育成し、地元への定着を促進するため、地元企業の情報発信力を高める取組として、盛岡広域の特性を活かしたものづくりをテーマとしてセミナーや工場見学等を実施します。

- 盛岡テクノミュージアム設置事業（ものづくり推進課） 740 千円

学生等が地元企業の工場を見学し、情報を入手する機会を増やすことで、企業への理解を深め、若者の地元定着を図るため、市内の工場等を盛岡テクノミュージアムに登録し、受入環境を整備する企業に対し助成を行います。

- 産業支援センター管理運営事業（ものづくり推進課） 16,573 千円

貸ブースとインキュベーションマネージャーのハンズオン支援により、起業を目指す方や起業間もない方等を支援します。

- 産学官連携研究センター管理運営事業（ものづくり推進課） 18,907 千円

岩手大学との共同研究を推進するための実験室やオフィスにより、新技術の研究開発に取り組む企業を支援します。

- 新事業創出支援センター管理運営事業（ものづくり推進課） 7,893 千円

開発拠点としての貸工場により、独創的な新技術や新製品を開発し、事業化を目指す企業を支援します。

- 起業家支援事業（ものづくり推進課） 160 千円

盛岡市，滝沢市，紫波町，矢巾町で共同して，起業家塾を開催し，新規創業の促進を図ります。

- 新産業等用地整備事業（新産業拠点形成推進事務局） 962,681 千円

道明地区に産業等用地の整備を進め，先端技術を有する企業の集積や産学官連携による新技術・新商品開発を図り，企業の高付加価値化の実現を目指します。令和2年度は，令和元年度に引き続き，第一事業区の用地造成や上下水道，道路などの基盤整備を行います。

(2) みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト

1,957,222 千円

若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実します。

また、子育ての相談や子どもの健全な成長を支援する体制の充実を図り、盛岡に住み続けたいと思える、安心して子育てのできるまちを実現するための戦略プロジェクトです。

具体的な事業名及び事業費

□ もりおか子育て世帯応援事業【新規】

291,588 千円

家計の経済的負担の軽減を通じて、「子どもを2人以上生み育てたいと思う人の希望が叶い、安心して子育てができる街」を目指し、次の事業を行います。

<第2子以降の保育料無償化（事業費合計：165,876 千円）>

- 私立児童福祉施設等運営事業（子育てあんしん課） 88,176 千円
- 保育所管理運営事業（子育てあんしん課） 15,312 千円
- 認定こども園等運営費給付事業（子育てあんしん課） 39,204 千円
- 子育てのための施設等利用給付事業（保育サービス推進室） 23,184 千円

上記の四事業において、公立保育所、私立保育所、認定こども園・小規模保育所等の保育料について、年収 550 万円未満相当世帯の第2子以降を無償とします。また、認可外保育施設の保育料について、年収 550 万円未満相当世帯の第2子以降に補助を行います。

<副食費助成（事業費合計：88,776 千円）>

- 私立児童福祉施設運営費助成事業（保育サービス推進室） 88,776 千円

この事業では、幼児教育・保育の無償化後に実費徴収となった副食費について、年収 550 万円未満相当世帯に補助を行います。

<放課後児童クラブ利用料の軽減（事業費合計：36,936 千円）>

- 地域児童クラブ等運営事業（子ども青少年課） 36,936 千円

この事業では、放課後児童クラブの利用料について、年収 550 万円未満相当世帯のきょうだい同時利用及び低所得世帯の負担を軽減します。

□ 児童館整備事業（（仮称）向中野児童センター整備事業）【新規】

6,006 千円

（子ども青少年課）

児童センター未設置地区である向中野小学校区へ児童センターの整備を進めます。令和2年度は、基本設計及び地質調査を行います。

- 障がい者相談支援事業（児童に特化した相談窓口の設置）【新規】 4,800 千円
（障がい福祉課）

発達障がい児の早期発見・早期療育を目的に、障がい児の相談支援の中核となる「児童に特化した委託相談の窓口」として、相談支援事業を実施します。

- 中学生医療費給付事業【拡充】（医療助成年金課） 86,492 千円

中学生について、子育て支援として医療費を助成します。助成額は保険で診療を受けたときの一部負担金から1診療報酬明細あたり入院 2,500 円、外来 750 円を差し引いた額（非課税世帯は全額）。

令和2年度から現物給付方式を導入します。

- 子育てのための施設等利用給付事業【拡充】（保育サービス推進室） 11,664 千円

旧制度幼稚園に通う子どもの保護者が負担する副食費について、国の基準に基づき補助を行います。

- 医療費給付事業（乳幼児医療費給付事業）（医療助成年金課） 431,212 千円

乳幼児について、子育て支援として保険で診療を受けたときの一部負担金の全額を助成します（無償化）。

- 医療費給付事業（小学生医療費給付事業）（医療助成年金課） 230,886 千円

小学生について、子育て支援として医療費を助成します。助成額は保険で診療を受けたときの一部負担金から1診療報酬明細あたり入院 2,500 円、外来 750 円を差し引いた額（非課税世帯は全額）。

- 医療費給付事業（妊産婦医療費給付事業）（医療助成年金課） 136,486 千円

妊産婦について、子育て支援として医療費を助成します。助成額は保険で診療を受けたときの一部負担金から1診療報酬明細あたり入院 2,500 円、外来 750 円を差し引いた額（非課税世帯は全額）。

- 子ども家庭総合支援センター事業（子ども家庭総合支援センター） 20,181 千円

児童虐待の発生予防と早期発見，早期対応を行うため，子どもや保護者に寄り添い，訪問等による継続的な相談・支援を行う「子ども家庭総合支援センター」を運営します。

- 養育支援訪問（家事援助）事業（子ども家庭総合支援センター） 1,188 千円

食事や衛生状況に課題を抱える子育て家庭に対し，家事援助サービスを提供することにより，子どもが健やかに育つ環境が整うよう家庭を支援します。

- 児童館整備事業（（仮称）見前第二児童センター整備事業
（子ども青少年課） 16,031 千円
- 児童センター未設置地区である見前小学校区において、小学校の敷地内に児童センターを整備します。令和2年度は、実施設計及び地籍測量を行います。
- 子ども・子育て支援事業計画推進事業（子ども青少年課） 302 千円
- 子ども・子育て会議の運営などを通し、第2期盛岡市子ども・子育て支援事業計画の円滑な推進を図ります。
- 子ども未来基金事業（子ども青少年課） 32,070 千円
- 企業・団体・個人から寄附を募るとともに、市民、地域団体、企業等が行う子ども・子育ての取り組みに要する経費を補助します。
- 子育て応援プラザ運営事業（子ども青少年課） 25,093 千円
- 室内遊び場やリラックスルーム、子育て中の女性向けのオフィスなどを備えた子育て支援施設を公民連携により運営します。
- 児童館管理運営事業（児童厚生員の適正配置）（子ども青少年課） 30,179 千円
- 児童厚生員の適正配置の基準に基づき、利用児童数に応じた児童厚生員を配置し、利用児童の健全育成を図ります。
- 児童福祉施設環境改善事業（児童センターエアコン設置）
（子ども青少年課） 11,007 千円
- 児童館・児童センターにエアコンを整備します。令和2年度は、既存のエアコンの容量が不足している施設のエアコンの設置などを行います。
- 児童福祉施設環境改善事業（公立施設エアコン設置）
（子育てあんしん課） 3,149 千円
- 公立保育所にエアコンを設置します。令和2年度は、公立保育所の事務室にエアコンを設置します。
- 待機児童解消強化事業（子育てあんしん課） 8,600 千円
- 既存の施設を活用して定員増を図る取組である定員の弾力化に積極的に取り組む保育所に対して、児童を受け入れるために必要な備品等を購入する費用等の一部を補助します。

- 特別保育事業（延長保育実施補助）（子育てあんしん課） 127,400 千円

市内私立保育所や小規模保育所等において延長保育を実施する場合に要する経費の一部を補助します。

※2年度は延長保育実施施設を9施設増やし、92施設とする予定です。

- 私立児童福祉施設整備助成事業（保育サービス推進室） 144,491 千円

増改築を予定している私立保育所に改築費の一部を補助します。

- 増改築等 1施設（定員20人増）

- 保育士確保対策事業（保育サービス推進室） 85,334 千円

保育士の生活支援により、保育士確保を図ります。

- 保育士の奨学金の返還費用の一部を補助
- 保育士の宿舍借上げ費用の一部を補助
- 若手保育士の処遇改善費用の一部を補助

- 子育て世代包括支援センター事業（子育て世代包括支援センター） 10,169 千円

妊娠、出産、子育て期にわたる様々な悩み等に対し、保健師・助産師等が、面接や訪問等により、専門的な見地から継続的に支援を行います。

- 乳児家庭全戸訪問等事業（子育て世代包括支援センター） 5,493 千円

生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供及び養育環境等の把握を行い、該当する家庭の孤立化を防ぎます。

- 小児救急輪番制病院事業（企画総務課） 22,792 千円

休日、夜間等における入院治療を必要とする小児の重症救急患者の医療を確保するために、輪番制で診察にあたる病院へ運営費を補助します。また、小児医療を提供する公的病院等に対して運営費を補助します。

- 夜間急患診療所管理運営事業（企画総務課） 75,434 千円

夜間の初期救急医療を確保するため、午後7時～午後11時30分まで、内科医及び小児科医を配置し、年中無休で応急的な診療を行う夜間急患診療所の運営を行います。

- 予防接種事業（幼児、小・中学生インフルエンザ予防接種補助）
（保健予防課） 74,196 千円

集団生活を送る子どものインフルエンザの重症化及び感染拡大の防止、子育て世代の負担軽減を図ります。0歳～中学生を対象とし、助成金額を1回につき2千円、助成回数を13歳未満は2回、13歳以上は1回までを限度に行います。

- 母子保健事業（産婦健康診査事業）（母子健康課） 19,093 千円

産後の間もない時期（概ね2週間，1か月）に，産婦に対する健康診査を2回実施し，身体機能の回復や授乳状況，精神状態を把握することにより，妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援を行います。

- 母子保健事業（産後ケア事業）（母子健康課） 773 千円

産後に家族等から十分な家事や育児の支援を受けられない母子等支援が必要と認められた産婦に対し，心身のケアや育児のサポートを行い，産後も安心して子育てができるよう支援を行います。

- 母子保健事業（新生児聴覚検査事業）（母子健康課） 8,549 千円

新生児期において，先天性の聴覚障害の発見を目的として実施する新生児聴覚検査の費用を5,000円を上限に助成することにより，保護者の経済的な負担を軽減します。

- 子育て世帯支援型賃貸住宅改修事業（建築住宅課） 3,000 千円

子育て世帯を対象とした入居促進のため，既存の住宅等を改修し，子育て世帯専用の賃貸住宅とする民間事業者等に対して，改修費用の一部を補助します。

- 就学援助事業（新入学児童学用品費入学前支給）（小学校）
（教育委員会学務教職員課） 9,753 千円

経済的理由等により就学が困難な児童の保護者に，義務教育に必要な費用の一部を援助する就学援助事業について，入学する際に必要な学用品・通学用品に係る費用の支給を，入学準備の時期に実施します。

- 就学援助事業（新入学生徒学用品費入学前支給，クラブ活動費支給）
（中学校）（教育委員会学務教職員課） 23,811 千円

経済的理由等により就学が困難な生徒の保護者に，義務教育に必要な費用の一部を援助する就学援助事業について，クラブ活動費の支給を実施します。また，入学する際に必要な学用品・通学用品に係る費用の支給を，入学準備の時期に実施します。

(3) 2020 あつまる・つながるまちプロジェクト

205,360 千円

本市を訪れる旅行客が満足し、選ばれる観光地域となるため、歴史や自然、文化などの恵まれた観光資源を生かし、ブラッシュアップするとともに、国内外からの観光客受入態勢の整備を進めるほか、様々な媒体を通じ、本市の魅力の積極的なプロモーションを行います。

また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの機運を高め、ホストタウン事業などに取り組むとともに、MICE（マイス）の誘致や盛岡ファンづくりを推進するなど、交流人口を増やし、魅力があふれるまちづくりを推進するための戦略プロジェクトです。

具体的な事業名及び事業費

□ 姉妹都市等国際交流事業

10,989 千円

（ビクトリア市姉妹都市提携 35 周年事業）【新規】（文化国際課）

令和 2 年度に迎えるカナダ・ビクトリア市との姉妹都市提携 35 周年という節目の年を祝うにあたり、両市長による公式訪問を実施するとともに、民間が主体となった記念事業を展開するために組織された「盛岡市・ビクトリア市姉妹都市提携 35 周年記念事業実行委員会」に、負担金を支出します。

□ 芸術文化活動振興事業（盛岡文士劇東京公演）【新規】（文化国際課）

5,000 千円

平成 31 年 2 月 20 日に友好都市提携の調印を行った文京区で盛岡市の歴史風土や文化などの魅力の一つである「盛岡文士劇」を上演することにより、両自治体の魅力を相互に理解しあいながら、「芸術・文化の香り高いまち」盛岡の魅力の発信を図ります。

□ 競技大会等開催事業（スポーツライミング第 3 回コンバインド ジャパンカップ）【新規】（スポーツツーリズム推進室）

2,000 千円

スポーツライミング第 3 回コンバインドジャパンカップを岩手県営運動公園登はん競技場で開催し、競技力の向上と盛岡の魅力発信を図ります。

□ 観光団体育成強化事業（盛岡伝統芸能常設公演事業）【新規】（観光課）

5,700 千円

伝統芸能体験をインバウンド誘客におけるナイトツーリズムとして設定するとともに、東北デスティネーションキャンペーン（令和 3 年 4～9 月）に向けて、観光コンテンツの一つとしてブラッシュアップを図ります。

□ 盛岡ブランド確立事業【拡充】（都市戦略室）

12,381 千円

マーケティングや広報の専門人材を活用し、マーケティング手法を取り入れた戦略的な情報発信によるシティプロモーションを行います。

また、市内外に盛岡を愛する人を増やし、選ばれる都市となることを目指します。

- 観光客誘致宣伝事業（東北六市連携広域観光プロモーション事業）
【拡充】（観光課） 3,000 千円

東北の県庁所在地 6 市の連携を活用し東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機に、広く国内外に向けたプロモーション活動を積極的に展開します。令和 2 年度においては、7 月にオリ・パラ関連イベントに参加するほか、首都圏プロモーションの実施を予定しています。

- 移住・定住・交流人口対策事業（都市戦略室） 21,307 千円

若者の地元定着や移住・定住促進のため、首都圏の若年層向けの情報発信や、盛岡コミュニティの支援、暮らし体験ツアー、「仕事」と「暮らし」の相談体制強化など、関係人口の増加を機軸とした取組を推進します。

- 地域おこし協力隊活用事業（移住・定住の促進）（都市戦略室） 3,936 千円

移住・定住や若者の地元定着を促進するため、移住・定住のコーディネーター役として「地域おこし協力隊」を配置し、「仕事」と「暮らし」の一体的な相談体制等を強化します。

- 芸術文化活動振興事業（盛岡国際俳句大会）（文化国際課） 4,000 千円

市制施行 130 周年を記念し、俳句を通して盛岡市の魅力を国内外に広く発信することで、インバウンドの増加や都市ブランドの確立を図る目的で開催された第 1 回盛岡国際俳句大会の成果を市民にさらに定着させ、芸術文化振興に寄与することを目的とし、第 2 回大会を開催し、負担金を支出します。

- 姉妹都市等国際交流事業（ホストタウン機運醸成事業）（文化国際課） 1,590 千円

カナダ、マリ共和国を相手国とするホストタウン交流について市民の理解や関心を深めるため、マリ音楽と本市出身の箏奏者によるコンサートの実施や、市内中心地のシティドレッシングを行うことで、機運醸成及び市民の国際感覚の醸成を図ります。

- 競技大会等開催事業（いわて盛岡シティマラソン）（スポーツ推進課） 30,000 千円

盛岡の魅力発信とスポーツによる交流人口の拡大を目的としたフルマラソン大会を開催するため、「いわて盛岡シティマラソン実行委員会」へ開催負担金を支出します。

- 盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業
（スポーツツーリズム推進室） 53,924 千円

東京 2020 オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、カナダの水球・ラグビー、マリ共和国の柔道の事前キャンプの受入れ、交流事業に取り組みます。また、盛岡広域スポーツコミッションによるスポーツを通じた交流人口の拡大などに取り組みます。

- 地域おこし協力隊活用事業（盛岡広域連携スポーツツーリズムの推進）
（スポーツツーリズム推進室） 4,000 千円

地域おこし協力隊によるスポーツを通じた盛岡広域圏の魅力を効果的にPRするため、盛岡広域スポーツコミッションホームページやSNSによる情報発信を行い、盛岡広域地域のスポーツツーリズムの推進を図ります。

- 外国人観光客誘致推進事業
（外国人観光客等受入環境整備・情報発信事業）（観光課） 6,408 千円

台湾及びタイをターゲットとして、モデルルートを設定したタイ語マップ等の作成や、受入環境整備を行います。また、観光施設等にWi-Fi設備の導入を進め、SSIDを統一してONE認証化を図ります。

- MICE（マイス）誘致推進事業（観光課） 25,800 千円

盛岡市内を主会場とする一定規模以上の国際会議や全国規模のコンベンションなどに対して、開催費用の一部を助成する制度による誘致を促進することで、地域経済の活性化を目指します。

- 大型観光キャンペーン事業（岩手もりおか復興フェスタ開催事業）
（観光課） 1,000 千円

東日本大震災からの復興と元気を発信するため、食の魅力を発信するイベントなどと連携しながら、被災地をはじめとする祭りや郷土芸能団体が出演する「岩手もりおか復興フェスタ」を開催します。

- 盛岡三大麺普及事業（経済企画課） 418 千円

盛岡の三大麺である「わんこそば」「盛岡冷麺」「盛岡じゃじゃ麺」の普及を推進するため、盛岡三大麺普及協議会及びわんこそば選手権の負担金を支出します。

- 地場・伝統産業振興事業（特産品ブランド振興事業）
（ものづくり推進課） 133 千円

盛岡の特色豊かな工芸品や食品、農産物等を広く全国にアピールするため、新たな盛岡ブランド品認定制度により、販売促進、販路拡大を図ります。

- 地場・伝統産業振興事業（盛岡デー開催事業）（ものづくり推進課） 2,900 千円

盛岡の観光PRと魅力発信の場として、東京と沖縄県うるま市で継続開催を予定している「盛岡デー」の開催に係る負担金を、主催者である「盛岡デー実行委員会」に支出します。

□地場・伝統産業振興事業（盛岡市の物産と観光展開催事業）
（ものづくり推進課） 3,964 千円

首都圏及び北海道からの観光客誘致に向け、熊谷市や札幌市などで開催を予定している物産と観光物産展に係る負担金を、主催者である「盛岡市の物産と観光展実行委員会」に対し支出します。

□ 盛岡地区かわまちづくり事業（公園みどり課） 2,910 千円

北上川における舟運復活に向けイベントの開催や社会実験等を行う実行委員会への負担金等による支援を行います。市民と行政が一体となり取り組みを進め川を活用した新たな観光資源や水辺の賑わいの創出を図ります。

□ 公園等維持管理総務事務
（いしがきミュージックフェスティバル支援事業）（公園みどり課） 4,000 千円

盛岡城跡公園を主会場として開催する「いしがきミュージックフェスティバル」の実行委員会への負担金等による支援を行います。イベントを通じ盛岡の魅力を発信するとともに、交流人口の増加と若者の活躍、被災地の復興を応援します。

5 主な事業

令和2年度一般会計当初予算における主な事業について、盛岡市総合計画に掲げる4つの基本目標及びその中に位置づけられる小施策のほか、自治体経営の取組に基づく5つの方針に沿って分類し、掲載しています。

また、公共施設の保有最適化・長寿命化計画の対象事業については、各々の事業が属する施策等とは別に、まとめて掲載しています。

※ 事業の表記にあたり、次の項目に該当する事業については、事業名の後ろに各々略号を表示しています。また、事業名の後に担当課名を掲載しています。

- ◆ 新規事業 【新規】
- ◆ 戦略プロジェクト事業 【戦略】
- ◆ 盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業 【創生】
- ◆ 旧玉山村との合併協定に基づく新市建設計画事業 【新市】
- ◆ 旧都南村との合併協定に基づく合併建設計画事業 【合併】
- ◆ 復興推進事業 【復興】

(1) 人がいきいきと暮らすまちづくり

若い世代や子育て世代が住みたい、住み続けたいと思うとともに、豊富な経験を持つ高齢者が活躍でき、また、誰もが、心身ともに健やかで充実感を持って安全に暮らすことのできるまちをつくります。

1 地域福祉の推進

- 避難行動要支援者避難支援事業（地域福祉課） 3,922 千円
- 民生委員活動事業（地域福祉課） 38,760 千円
- 地域福祉計画推進事業（地域福祉課） 31,829 千円
- 社会福祉法人指導監督等事業（地域福祉課） 12,267 千円
- 地域再犯防止推進計画事業（地域福祉課） 3,871 千円

2 子ども・子育て、若者への支援

- 医療費給付事業（妊産婦・乳幼児・小学生・中学生）【戦略】 885,076 千円
（医療助成年金課）
（中学生医療費の現物給付化【新規】 1,964 千円）
- 青少年施策推進事業（子ども青少年課） 4,948 千円
- 地域児童クラブ等運営事業（子ども青少年課） 544,226 千円
（放課後児童クラブ利用料補助【新規・戦略】 36,936 千円）

● 子ども・子育て支援事業計画推進事業【戦略】(子ども青少年課)	302 千円
● 子育て応援プラザ運営事業【戦略】(子ども青少年課)	25,093 千円
● 子ども未来基金事業【戦略】(子ども青少年課)	32,070 千円
● ひとり親家庭等日常生活支援事業(子ども青少年課)	1,216 千円
● 少子化対策事業(子ども青少年課)	1,003 千円
● 私立児童福祉施設等運営事業(子ども青少年課)	20,951 千円
● 児童手当支給事業(子ども青少年課)	4,012,970 千円
● 児童扶養手当支給事業(子ども青少年課)	1,219,598 千円
● 母子家庭等高等職業訓練促進給付金支給事業(子ども青少年課)	18,306 千円
● 児童館管理運営事業(子ども青少年課)	502,993 千円
(児童厚生員の適正配置【戦略】 30,179 千円)	
● 児童館整備事業(子ども青少年課)	34,821 千円
(児童センターエアコン整備【戦略】 11,007 千円)	
((仮称)見前第二児童センター実施設計及び測量【戦略】16,031 千円)	
((仮称)向中野児童センター基本設計及び地質調査【新規・戦略】	
6,006 千円)	
● 子ども家庭総合支援センター事業【戦略】	20,181 千円
(子ども家庭総合支援センター)	
● 養育支援訪問(家事援助)事業【戦略】(子ども家庭総合支援センター)	1,188 千円
● 子育て世代包括支援センター事業【戦略】	10,169 千円
(子育て世代包括支援センター)	
● 地域子育て支援センター事業(子育て世代包括支援センター)	64,763 千円
● つどいの広場管理運営事業(子育て世代包括支援センター)	19,717 千円
● 乳児家庭全戸訪問等事業【戦略】(子育て世代包括支援センター)	5,493 千円
● 特別保育事業(子育てあんしん課)	267,779 千円
(延長保育実施補助分【戦略】 127,400 千円)	
● 病児保育事業(子育てあんしん課)	86,363 千円
● 私立児童福祉施設運営費助成事業(運営費補助事業)	174,620 千円
(子育てあんしん課)	
● 待機児童解消強化事業【戦略】(子育てあんしん課)	8,600 千円
● 私立児童福祉施設等運営事業(子育てあんしん課)	5,299,199 千円
(第2子以降保育料無償化【新規・戦略】 88,176 千円)	
● 認定こども園等運営費給付事業(子育てあんしん課)	4,028,665 千円
(第2子以降保育料無償化【新規・戦略】 39,204 千円)	
● 保育所管理運営事業(子育てあんしん課)	1,417,626 千円
(公立保育所エアコン整備【戦略】 3,149 千円)	
(公立保育所第2子以降保育料無償化【新規・戦略】 15,312 千円)	
● 私立児童福祉施設運営費助成事業(副食費助成)【新規】【戦略】	88,776 千円
(保育サービス推進室)	
● 私立児童福祉施設整備助成事業【戦略】(保育サービス推進室)	144,491 千円

● 保育士確保対策事業（保育サービス推進室）	85,939 千円
（保育士奨学金返還支援補助【戦略】 10,782 千円）	
（保育士宿舍借り上げ支援事業補助【戦略】 67,397 千円）	
（若手保育士等処遇改善事業補助【戦略】 7,155 千円）	
● 子育てのための施設等利用給付事業（保育サービス推進室）	493,951 千円
（幼稚園副食費補足給付【戦略】 11,664 千円）	
（認可外保育施設第2子以降保育料無償化【新規・戦略】 23,184 千円）	
● 小児救急輪番制病院事業【戦略】（企画総務課）	22,792 千円
● 母子保健事業（母子健康課）	242,961 千円
（産婦健康診査事業【戦略】 19,093 千円）	
（産後ケア事業【戦略】 773 千円）	
（新生児聴覚検査事業【戦略】 8,549 千円）	
● 乳幼児健康診査事業（母子健康課）	96,403 千円
● 不妊に悩む方への特定治療支援事業（母子健康課）	52,044 千円
● 子育て世帯支援型賃貸住宅改修事業【戦略】（建築住宅課）	3,000 千円

3 高齢者福祉の充実

● 老人福祉施設整備助成事業（介護保険課）	45,413 千円
● 老人福祉施設開設準備経費助成事業（介護保険課）	22,005 千円
● 介護従事者確保事業（介護保険課）	7,173 千円
● 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業【新規】（介護保険課）	5,230 千円
● 敬老バス運行事業（長寿社会課）	23,310 千円
● 高齢者権利擁護等推進事業（長寿社会課）	15,958 千円
（盛岡広域成年後見センター設置運営事業【新規】 15,878 千円）	

※当該センター運営に係る予算は、障がい福祉課所管分と合わせ、総額 24,300 千円となる。

4 健康づくり・医療の充実

● 後期高齢者医療健診事業（健康保険課）	148,236 千円
● 後期高齢者医療歯科健診事業（健康保険課）	2,536 千円
● 後期高齢者医療療養給付費負担金（健康保険課）	2,548,310 千円
● 後期高齢者医療広域連合分担金（健康保険課）	113,518 千円
● 医務薬務指導事業（企画総務課）	622 千円
● 第二次救急医療事業（企画総務課）	60,289 千円
● 在宅当番医制事業（企画総務課）	8,412 千円
● 夜間急患診療所管理運営事業【戦略】（企画総務課）	75,434 千円
● 成人健康診査事業（健康増進課）	476,110 千円
● 精神保健福祉事業（保健予防課）	3,906 千円
● 感染症予防事業（保健予防課）	117,090 千円

- 予防接種事業（保健予防課） 886,803 千円
 - （幼児インフルエンザ予防接種補助金【戦略】 36,398 千円）
 - （小学生インフルエンザ予防接種補助金【戦略】 29,198 千円）
 - （中学生インフルエンザ予防接種補助金【戦略】 8,600 千円）
 - （ロタウイルスワクチン予防接種委託料【新規】 26,055 千円）
 - （風しんの追加的対策に係る抗体検査・予防接種委託料 108,062 千円）
- 食品衛生指導事業（生活衛生課） 6,672 千円
- 生活衛生指導事業（生活衛生課） 855 千円
- 成人健康診査事業（健康福祉課） 10,910 千円

5 障がい者福祉の充実

- 障がい者福祉施設整備助成事業（障がい福祉課） 39,000 千円
 - 障がい者相談支援事業（障がい福祉課） 39,470 千円
 - （障がい児相談支援事業【新規・戦略】 4,800 千円）
 - 介護給付等給付事業（障がい福祉課） 3,261,693 千円
 - 訓練等給付事業（障がい福祉課） 2,392,107 千円
 - 地域生活支援事業（障がい福祉課） 257,729 千円
 - （盛岡広域成年後見センター設置運営事業【新規】 8,422 千円）
- ※当該センター運営に係る予算は、長寿社会課所管分と合わせ、総額 24,300 千円となる。

6 生活困窮者への支援

- 生活保護受給者等就労支援事業（生活福祉第一課・生活福祉第二課） 25,844 千円
- 自立相談支援事業（生活福祉第一課・生活福祉第二課） 41,636 千円
 - （アウトリーチ支援員配置【新規】 3,879 千円）
- 学習支援事業（生活福祉第一課・生活福祉第二課） 20,989 千円
- 住居確保給付金支給事業（生活福祉第一課・生活福祉第二課） 1,755 千円
- 生活保護事業（生活福祉第一課・生活福祉第二課） 7,303,545 千円
- 公営住宅建設事業（青山二・三丁目アパート）（建築住宅課） 357,934 千円
- 公営住宅ストック総合改善事業（建築住宅課） 608,045 千円
- 被災住宅補修支援事業【復興】（建築住宅課） 9,085 千円
- 被災者住宅再建支援事業【復興】（建築住宅課） 17,000 千円

7 人権尊重・男女共同参画の推進

- 男女共同参画意識啓発事業（男女共同参画推進室） 323 千円
 - （LGBT 理解促進の研修【新規】 104 千円）
- 配偶者等暴力防止事業（男女共同参画推進室） 4,318 千円

8 安全・安心な暮らしの確保

● 交通指導員活動事業（くらしの安全課）	43,828 千円
● 交通安全啓発事業（くらしの安全課）	2,742 千円
● 交通安全教育事業（くらしの安全課）	10,360 千円
● 防犯活動事業（くらしの安全課）	5,982 千円
● 空き家等適正管理事業（くらしの安全課）	11,699 千円
● 消費者行政推進事業（消費生活センター）	55,292 千円
● 消費者行政活性化事業（消費生活センター）	3,547 千円
● 計量行政推進事業（消費生活センター）	3,005 千円
● 急傾斜地崩壊対策事業（河川課）	
■ 山岸地区	37,900 千円
■ 桜山地区【新規】	2,000 千円
● 河川等維持管理事業（河川課）	
■ 沼橋川【新規】	31,400 千円
● 河川改良事業（河川課）	
■ 大葛川	18,000 千円
■ 広川	33,000 千円
■ 南川	471,400 千円
■ 沢口川	18,000 千円
● 空き家等対策事業（都市計画課）	1,135 千円
● 危機管理防災事業（危機管理防災課）	31,977 千円
● 防災施設整備事業（危機管理防災課）	180,326 千円
（玉山地域防災行政無線の更新整備工事等 173,455 千円）	
（災害用備蓄品の購入（アルファ化米等） 1,756 千円）	
（避難場所標識の整備・更新 4,500 千円）	
（無人航空機運用体制の整備 615 千円）	
● 自主防災組織育成事業（消防対策室）	10,429 千円
（自主防災組織への防災資器材の交付 1,300 千円）	
● 広域消防組合事業費に対する常備消防費負担金（消防対策室）	3,129,520 千円
● 消防団管理事務（消防対策室）	182,772 千円
（トランシーバー等装備品購入 4,270 千円）	
（救助活動用資器材購入【新規】 2,988 千円）	
● 消防施設整備事業（消防対策室）	115,675 千円
（消防ポンプ自動車購入（西見前・手代森地区）【新規】 38,195 千円）	
（小型動力ポンプ付積載車購入（馬場・桑畑地区）【新規】 24,088 千円）	
（湯沢消防屯所建設事業 52,943 千円）	
● 広域消防組合事業費に対する消防施設費負担金（消防対策室）	699,053 千円
（盛岡西消防署厨川出張所建設事業 19,729 千円）	
（盛岡西消防署城西出張所太田分駐所耐震補強事業 90 千円）	

9 地域コミュニティの維持・活性化

- 地区行政事務（市民協働推進課） 78,008 千円
（協働推進奨励金 76,411 千円）
- 公衆街路灯関連事業（市民協働推進課） 92,808 千円
（公衆街路灯LED化促進事業 39,145 千円）
（盛岡市街灯設置費等補助金（新設・修繕） 3,865 千円）
（盛岡市街灯設置費等補助金（柱撤去） 641 千円）
（盛岡市認定公衆街路灯電気料給付金等 49,157 千円）
- コミュニティ推進事業（市民協働推進課） 28,101 千円
（コミュニティ活動費補助金 2,400 千円）
（市民協働推進センター設置 5,084 千円）
- コミュニティ施設管理運営事業（市民協働推進課） 226,169 千円
（青山地区活動センター駐車場整備【新規】 37,077 千円）
- 自治公民館整備事業（市民協働推進課） 12,760 千円
- 地域協働推進事業（市民協働推進課） 14,335 千円
（地域づくり事業補助金 13,200 千円）

10 生活環境の保全

- 公害防止対策事業（環境企画課） 25,038 千円
- リサイクルセンター施設整備事業（廃棄物対策課） 34,651 千円
- 旧清掃工場施設解体事業（廃棄物対策課） 254,246 千円
- 塵芥収集運搬委託事業（収集センター） 672,623 千円
- 廃棄物処分場管理運営事業（リサイクルセンター） 147,413 千円
- クリーンセンター設備改修事業（クリーンセンター） 293,181 千円
- 塵芥収集運搬委託事業（税務住民課） 39,626 千円
- 墓園管理運営事業（企画総務課） 17,093 千円
- 動物愛護事業（生活衛生課） 9,021 千円

(2) 盛岡の魅力があふれるまちづくり

盛岡を行き交う交流人口を増やし、にぎわいを創出していくため、雄大な自然や美しい景観、城下町の歴史、芸術文化、スポーツ、温かい人情など、盛岡の魅力を守り育てるとともに、まちづくりにいかし、盛岡らしさが光る、魅力あふれるまちをつくります。

11 歴史・文化の継承

- 市史編さん事業【新規】(市史編さん室) 4,552 千円
- 文化財保護事業(歴史文化課) 11,253 千円
- 盛岡城跡保存整備事業(歴史文化課) 6,905 千円
- 玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館整備事業【新市】(歴史文化課) 2,585 千円

12 芸術文化の振興

- 芸術文化活動振興事業(文化国際課) 15,952 千円
(盛岡文士劇東京公演共催負担金【新規・戦略】 5,000 千円)
(盛岡国際俳句大会共催負担金【戦略】 4,000 千円)
- 文化会館管理運営事業(文化国際課) 632,173 千円
- 文化会館活動事業(文化国際課) 20,414 千円

13 スポーツの推進

- スポーツ活動機会提供事業(スポーツ推進課) 1,157 千円
(健康づくり習慣化推進事業【新規】 700 千円)
- 競技大会等開催事業(スポーツ推進課) 43,530 千円
(いわて盛岡シティマラソン実行委員会負担金【戦略】 30,000 千円)
(スポーツクライミング第3回コンバインドジャパンカップ
大会負担金【新規】【戦略】 2,000 千円)
(2020 インターハイハンドボール競技開催負担金 1,070 千円)
- 体育施設管理運営事業(スポーツ推進課) 433,146 千円
- 体育施設修繕事業(スポーツ推進課) 10,566 千円
- 総合プール整備事業(スポーツ推進課) 10,944 千円
- スポーツ活動機会提供事業(スポーツツーリズム推進室) 509 千円
- 盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業【戦略】 53,924 千円
(スポーツツーリズム推進室)
- 地域おこし協力隊活用事業【戦略】(スポーツツーリズム推進室) 4,000 千円
- 盛岡南公園野球場整備事業【合併】(盛岡南公園野球場整備室) 118,575 千円

14 「盛岡ブランド」の展開

- 盛岡ブランド確立事業【戦略・創生】(都市戦略室) 12,381 千円
- 移住・定住・交流人口対策事業【戦略・創生】(都市戦略室) 21,307 千円
- 地域おこし協力隊活用事業(都市戦略室) 4,645 千円
(移住定住の促進【戦略】 3,936 千円)
- 盛岡地区かわまちづくり事業【戦略】(公園みどり課) 2,910 千円
(舟運実現に向けた支援業務委託 1,910 千円)

15 良好な景観の形成

- 都市景観形成指導事業(景観政策課) 1,443 千円
- 屋外広告物事務(景観政策課) 3,218 千円
- 景観計画推進事業(景観政策課) 71,875 千円
(紺屋町番屋改修工事 53,500 千円)

16 計画的な土地利用の推進

- 都市計画マスタープラン策定事務【新規】(都市計画課) 9,000 千円

(3) 人を育み未来につなぐまちづくり

長い歴史とともに築いてきた文化や環境などを次世代に引き継ぐため、未来の盛岡を支え、創り、つなぐことのできる人を育むまちをつくりまします。

また、環境への意識が高まる中、豊かな自然環境と快適な都市機能との調和が続く、持続可能なまちをつくりまします。

17 子どもの教育の充実

- 小学校に係る事業
 - 学校管理事務（教育委員会総務課） 1,332,192 千円
 - 校舎等維持補修事業（教育委員会総務課） 116,944 千円
（小学校校舎屋根修繕 32,100 千円）
 - 向中野小学校施設整備事業【新規】（教育委員会総務課） 31,476 千円
 - 飯岡小学校施設整備事業（教育委員会総務課） 406,937 千円
 - 学校管理事務（学務教職員課） 20,218 千円
（都南スクールバス更新【新規】 8,401 千円）
 - 学校給食運営事業（学務教職員課） 53,533 千円
 - 教育振興事業（就学援助事業）（学務教職員課） 113,688 千円
（入学前の学用品等に係る費用支給【戦略】 9,753 千円）
 - 学校配分事務（学校教育課） 99,414 千円
 - 教育振興事業（学校教育課） 148,468 千円
（教科書改訂による教師用教科書・指導書購入【新規】 143,237 千円）
 - 義務教育教材器具購入事業（学校教育課） 33,598 千円
（プログラミング教育用教材購入等【新規】 6,573 千円）
- 中学校に係る事業
 - 学校管理事務（教育委員会総務課） 380,432 千円
 - 校舎等維持補修事業（教育委員会総務課） 29,230 千円
 - 仙北中学校第二屋内運動場等整備事業（教育委員会総務課） 318,518 千円
 - 学校給食運営事業（学務教職員課） 81,893 千円
（給食自由選択方式の実施（北陵中）【新規】 18,501 千円）
 - 教育振興事業（就学援助事業）（学務教職員課） 102,370 千円
 - （入学前の学用品等に係る費用支給【戦略】 13,920 千円）
 - （クラブ活動費支給【戦略】 9,891 千円）
 - 学校配分事務（学校教育課） 71,867 千円
- 総務事務（市立高校） 139,487 千円
（創立 100 周年記念事業【新規】 9,700 千円）
- 教職員の働き方改革推進事業（学務教職員課） 1,806 千円
- 外国人英語指導講師招へい事業（学校教育課） 43,402 千円

- 生徒指導強化推進事業（学校教育課） 64,057 千円
 （生徒指導強化推進事業 1,023 千円）
 （スクールサポート事業 49,570 千円）
 （地域ぐるみの学校安全推進事業 2,019 千円）
 （不登校生徒等対策事業 11,445 千円）
- 先人教育推進事業（学校教育課） 487 千円
- 学校図書館活用推進事業（学校教育課） 10,089 千円
- 教育振興運動事業（学校教育課） 2,067 千円
- 教育研修事業（教育研究所） 9,350 千円
- （仮称）盛岡学校給食センター建設事業（学務教職員課） 222,761 千円

18 生涯学習の推進

- 社会教育促進事業（生涯学習課） 4,146 千円
- 子ども科学館管理運営事業（生涯学習課） 158,065 千円

19 社会を担う人材の育成・支援

- 若者の就業支援事業（経済企画課） 17,345 千円
 （高校生等地元就職フォローアップ事業業務委託【戦略・創生】2,160 千円）
 （ジョブカフェいわて運営業務委託【戦略】 5,004 千円）
 （若者サポートステーション運営業務委託 4,620 千円）
 （新社会人就職定着支援事業業務委託【戦略】 1,975 千円）
 （若者等地元定着強化事業【戦略】 3,399 千円）
- 公園等維持管理総務事務（公園みどり課） 56,374 千円
 （いしがきミュージックフェスティバル支援事業【戦略】 4,000 千円）

20 地球環境の保全と自然との共生

- 自然環境等保全事業（環境企画課） 1,229 千円
- 地球環境啓発事業（環境企画課） 5,706 千円
- 地球温暖化対策実行計画推進事業（環境企画課） 16,118 千円
 （太陽光発電システム等設置費補助金 10,449 千円）
- 生出地域エコタウン事業【新市】（環境企画課） 469 千円
- 容器包装リサイクル推進事業（資源循環推進課） 6,320 千円
- ごみ減量等啓発事業（資源循環推進課） 7,257 千円
- 事業系ごみ減量等推進事業（資源循環推進課） 4,848 千円
- きれいなまち推進事業（資源循環推進課） 32,264 千円
- 資源ごみ分別作業所管理運営事業（リサイクルセンター） 57,766 千円
- 県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進事業（ごみ処理広域化推進室） 21,989 千円

(4) 人が集い活力を生むまちづくり

人口減少、少子高齢社会の進行とともに、地方の衰退が懸念されている中であっても、活力を生み出し、拠点都市としての役割を十分に果たしていくため、産業の振興や中心市街地の活性化を図るとともに、高次の都市機能の集積を推進し、求心力のあるまちをつくります。

また、国際化が進展する中で、世界に通用する優れた人材を育むとともに、多文化共生のまちづくりを進め、世界に開かれた、活力を生むまちをつくります。

21 農林業の振興

● 新規就農支援事業【戦略】（農政課） （親元就農給付金 2,400 千円）	18,958 千円
● 水田農業構造改革事業（農政課）	16,976 千円
● いわて地域農業マスタープラン実践支援事業（農政課）	6,000 千円
● 農業生産対策事業（農政課） （スマート農業導入促進事業【新規・戦略】 3,000 千円）	3,853 千円
● 盛岡市農業まつり開催事業（農政課）	1,411 千円
● 盛岡りんご担い手バックアップ事業（農政課） （りんご剪定作業担い手育成補助金【新規・戦略】 500 千円）	735 千円
● 中山間地域等直接支払事業（農政課・産業振興課）	68,463 千円
● 地域おこし協力隊活用事業（農政課） （大ケ生地域2名、築川地域2名、猪去地域2名）	21,832 千円
● 畜産振興事業（農政課） （もりおか短角牛肥育経営安定化対策事業費補助金 4,000 千円） （岩手県ブロイラー価格安定対策事業補助金【新規】 1,197 千円）	8,934 千円
● 農業基盤整備事業（農政課） （排水対策特別事業 船田堰地区【新市】 5,268 千円） （農道整備事業 巻堀2期地区負担金【新市】 3,066 千円） （農村災害対策整備事業岩手山麓地区負担金 3,425 千円） （国営造成施設管理体制整備促進事業 1,918 千円） （ほ場整備事業 武道地区負担金【新市】 4,000 千円） （かんがい排水事業 松川大堰地区負担金【新市】 5,525 千円） （水利施設整備事業 手代森地区負担金 1,600 千円） （ため池防災環境整備事業【新規】 7,260 千円）	41,135 千円
● 環境保全型農業直接支払交付金事業（農政課・産業振興課）	12,180 千円
● 多面的機能支払交付金事業（農政課・産業振興課）	251,445 千円
● 牧野管理運営事業（農政課） （草地更新事業委託料 2,000 千円）	10,641 千円
● 盛岡の食材プロモーション事業【戦略】（食と農の連携推進室）	2,416 千円

● 食と農のバリューアップ推進事業【戦略】(食と農の連携推進室)	25,197 千円
● 国土調査事業(補助)(林政課)	40,000 千円
(地籍調査測量業務委託料 35,434 千円)	
● 農林業振興基金積立(森林環境譲与税)(林政課/総務事務)	78,535 千円
● 林道管理事業(林政課)	21,740 千円
● 森林適正管理推進事業(林政課)	10,746 千円
● 林業労働対策事業【戦略】(林政課)	494 千円
● マツクイムシ被害防止対策事業(林政課)	13,609 千円
● 市産材利用拡大推進事業(林政課)	1,050 千円
● 市産材利用住宅支援事業(林政課)	2,500 千円
● 市産材利用店舗等支援事業(林政課)	1,000 千円
● 森林経営管理事業(林政課)	58,300 千円
● 市有林造成事業(補助)(林政課)	16,278 千円
● 市有林造成事業(単独)(林政課)	31,442 千円
● 新規就農支援事業(産業振興課)	1,565 千円
● 水田農業構造改革事業(産業振興課)	9,160 千円
● 地域おこし協力隊活用事業(産業振興課)	14,651 千円
(玉山地域 5名)	
● 文京区学生と創るアグリイノベーション事業【新規】(産業振興課)	4,942 千円
● 畜産振興事業(産業振興課)	2,518 千円
● 総合交流ターミナル管理運営事業(産業振興課)	37,234 千円
● 玉山生活改善センター解体事業(産業振興課)	33,957 千円
● 牧野管理運営事業(産業振興課)	34,592 千円
(草地更新事業委託料 4,840 千円)	
● 農業施設維持管理事業(玉山総合事務所建設課)	34,906 千円
(濁川・城内川土砂撤去【新規】 28,900 千円)	

22 商業・サービス業の振興

● 商業振興事務(経済企画課)	417 千円
(中小企業人材育成支援事業【戦略】 200 千円)	
● 商店街等指導事業(経済企画課)	297 千円
(商店街等魅力強化支援事業 185 千円)	
● 商店街活性化支援事業(経済企画課)	12,092 千円
(アレ・ヴェール解体工事 5,700 千円)	
● 商工団体育成事業(経済企画課)	39,560 千円
● 盛岡三大麺普及事業【戦略】(経済企画課)	418 千円

23 工業の振興

- 工業振興事業（ものづくり推進課） 9,538 千円
（製造業及び情報サービス業市場開拓等事業補助金【戦略】 800 千円）
- 盛岡テクノミュージアム設置事業【戦略】（ものづくり推進課） 740 千円
- ものづくり人材育成事業【戦略】（ものづくり推進課） 138 千円
- 工場新設拡充等事業【戦略】（ものづくり推進課） 56,700 千円
（未来創造産業拠点形成調査事業業務委託【新規】 2,000 千円）
- 盛岡広域企業誘致推進事業（ものづくり推進課） 1,097 千円
- 盛岡手づくり村振興事業（ものづくり推進課） 50,625 千円
- 産業支援事業【戦略】（ものづくり推進課） 1,219 千円
- 成長分野拠点形成支援事業【戦略・創生】（ものづくり推進課） 33,230 千円
- 金融対策事業（ものづくり推進課） 220,814 千円
- 地場・伝統産業振興事業（ものづくり推進課） 11,554 千円
（特産品ブランド振興事業【戦略】 133 千円）
（盛岡市の物産と観光展開催事業【戦略】 3,964 千円）
（盛岡デー開催事業【戦略】 2,900 千円）
- ものづくり産業魅力向上事業【戦略】（ものづくり推進課） 2,122 千円
- 地域おこし協力隊活用事業（ものづくり推進課） 3,998 千円
（繫地区 1 名）

24 観光の振興

- 観光施設整備事業（観光課） 11,670 千円
（観光パラメータ調査業務委託料【新規】 3,000 千円）
- 観光客誘致宣伝事業（観光課） 15,258 千円
（東北六市連携事業【戦略】 3,000 千円）
- 大型観光キャンペーン事業（観光課） 7,827 千円
（岩手もりおか復興フェスタ実行委員会負担金【戦略】 1,000 千円）
（東北絆まつり派遣事業負担金 3,150 千円）
- 観光団体育成強化事業（観光課） 53,629 千円
（つなぎ温泉観光協会事業費補助金〔盛岡伝統芸能常設公演事業分〕
【新規・戦略】 5,700 千円）
- まつり・イベント振興事業（観光課） 48,506 千円
（盛岡さんさ踊り実行委員会負担金 15,895 千円）
（盛岡花火の祭典負担金 4,137 千円）
（全国高校生短歌大会負担金 4,275 千円）
（盛岡舟っこ流し事業費補助金 2,508 千円）
- 外国人観光客誘致推進事業【戦略】（観光課） 6,408 千円
（タイ誘客受入環境整備事業 2,423 千円）
（盛岡 City Wi-Fi 整備事業 3,985 千円）

● MICE（マイス）誘致推進事業【戦略】（観光課）	25,800 千円
● まつり・イベント振興事業（産業振興課）	5,425 千円
● 道の駅設置事業【新市】（道の駅整備推進室）	74,079 千円
● 広域観光推進事業（観光課）	11,211 千円

25 雇用の創出

● 勤労者対策事業（経済企画課）	74,529 千円
● 雇用対策推進事業（経済企画課）	10,974 千円
（魅力ある職場づくり推進事業【新規・戦略】 1,096 千円）	

26 都市基盤施設の維持・強化

● 飲用井戸等整備補助事業【新市】（環境企画課）	17,619 千円
● 飲用水確保対策事業（環境企画課）	38,657 千円
● 飲料水供給施設管理運営事業（環境企画課）	3,156 千円
● 浄化槽設置整備補助事業（給排水課）	23,857 千円
● 道路橋りょう維持管理事業（道路管理課）	718,470 千円
● 道路除排雪事業（道路管理課）	612,502 千円
● 市道舗装二次改築事業（道路管理課）	140,869 千円
● 踏切拡幅対策事業（道路管理課）	98,582 千円
● 除雪機械整備事業（道路管理課）	23,862 千円
● 道路新設改良事業	
■ 津志田白沢線（Ⅱ工区）ほか1路線（道路建設課）	41,700 千円
■ 渋民東線【新市】（道路建設課）	31,000 千円
■ 一の渡岩洞湖線【新市】（道路建設課）	52,400 千円
■ 二子沢線【新市】（道路建設課）	85,700 千円
■ 生活環境整備事業	
◆ 都南中央第二地区【合併】（盛岡南整備課）	30,140 千円
◆ 都南中央第三地区【合併】（盛岡南整備課）	124,955 千円
◆ 道明地区（盛岡南整備課）	378,585 千円
◆ 下飯岡地区（盛岡南整備課）	41,180 千円
◆ 下太田地区（市街地整備課）	159,593 千円
● 広域圏道路新設整備事業（道路建設課）	
■ 津志田白沢線	100,000 千円
■ 新庄1号線	15,000 千円
■ 岩山2号線	46,000 千円
■ 上鹿妻6号線（第Ⅱ工区）【新規】	10,000 千円
■ 繫26号線（第Ⅱ工区）【新規】	10,000 千円

■ その他交通安全施設	9,000 千円
● 橋りょう維持補修事業（道路管理課）	314,472 千円
● 交通安全施設等整備事業（道路建設課）	
■ 谷地頭線外1路線	41,700 千円
■ 西部線外	10,000 千円
■ 南大通二丁目南大橋線外	84,000 千円
■ 岩手飯岡駅東西線自由通路【新市】	138,000 千円
■ 城西町天昌寺町線外2路線（境田川原踏切）	357,110 千円
■ 東中野門線	64,000 千円
■ 三本柳線【合併】	33,000 千円
■ 好摩永井線【新市】	8,000 千円
■ 渋民好摩線【新市】	10,000 千円
■ 下田生出線（下田工区）【新市】	21,000 千円
● 復興交付金事業（道路建設課）	
■ 中屋敷町青山一丁目2号線	26,000 千円
● 交通安全・無電柱化等補助事業（道路建設課）	
■ 岩手公園開運橋線（菜園工区）	124,352 千円
■ 生活道路対策エリア（西見前地区・陣場地区）【新規】	12,000 千円
● 土地区画整理事業	
■ 道明地区（盛岡南整備課）	416,700 千円
■ 都南中央第三地区【合併】（盛岡南整備課）	911,641 千円
■ 太田地区（市街地整備課）	1,727,027 千円
● 公園等維持管理総務事務（公園みどり課）	52,374 千円
※当該予算額は、他施策に属する「いしがきミュージックフェスティバル支援事業分」4,000 千円を除く。	
● 街路樹等維持管理事業（公園みどり課）	194,441 千円
● 動物公園総務事務（公園みどり課）	221,696 千円
（ゾウ人工授精委託費【新規】 6,500 千円）	
（キリン繁殖に係る輸送委託費【新規】 500 千円）	
● 花と緑のまちづくり事業（公園みどり課）	17,965 千円
● 都市公園整備事業（公園みどり課）	366,851 千円
（中央公園，高松公園，太田地区）	
● お城を中心としたまちづくり事業（公園みどり課）	71,379 千円
● 上飯岡児童センター跡地整備事業【新規】（公園みどり課）	31,000 千円
● 優良建築物等整備事業（まちなか整備室）	105,805 千円
● 盛岡バスセンター整備事業（まちなか整備室）	156,747 千円
● 既存建築物耐震診断・改修促進事業（建築指導課）	4,317 千円
（木造住宅耐震診断支援 283 千円）	
（木造住宅耐震改修支援 2,000 千円）	
（ブロック塀安全対策補助金【新規】 2,000 千円）	
● 建築指導事務（建築指導課）	10,976 千円

● 住宅・建築物アスベスト改修事業【新規】(建築指導課)	67,231 千円
● 道路橋りょう維持管理事業(玉山総合事務所建設課) (百目木永井沢線 10,000 千円)	47,250 千円
● 道路除排雪事業(玉山総合事務所建設課)	41,965 千円
● 市道舗装新設改良事業(玉山総合事務所建設課)	
■ 渋民駅北地区整備事業【新市】	10,000 千円
■ 市道啄木団地線	22,500 千円
● 側溝整備事業(玉山総合事務所建設課)	
■ 門前寺線	6,000 千円
■ 大の平線	10,000 千円
■ 好摩駅西地区整備事業【新市】	17,400 千円
■ 渋民駅北地区整備事業【新市】	18,200 千円
● 社会資本整備総合交付金事業(玉山総合事務所建設課)	
■ 日戸柴沢線路肩拡幅工事	10,000 千円
■ 山谷川目線路肩拡幅工事	10,000 千円

27 交通環境の構築

● 街路事業(道路建設課)	
■ 明治橋大沢川原線(大通工区)【新市】	15,000 千円
■ 愛宕町三ツ割線(山岸四丁目)	14,000 千円
■ 県営街路事業負担金	21,750 千円
● バス関連事務(交通政策課)	98,296 千円
(「まちなか・おでかけバス」事業 57,500 千円)	
(おでかけバス特典ポイント発行事業【新規】 5,913 千円)	
(広域生活交通路線維持補助金(好摩直通線)【新規】 2,800 千円)	
● 公共交通利用促進対策事業(交通政策課)	234,994 千円
(JR田沢湖線新駅整備事業【新規】 234,094 千円)	
● 鉄道関連事務(玉山総合事務所総務課)	2,100 千円
(IGRいわて銀河鉄道通学定期乗車券購入費補助金 2,100 千円)	

28 国際化の推進

● 国際リニアコライダー誘致推進事業(国際リニアコライダー推進事務局)	2,088 千円
● 姉妹都市等国際交流事業(文化国際課)	34,279 千円
(ビクトリア市姉妹都市35周年記念事業【新規・戦略】 10,989 千円)	
(ホストタウン機運醸成事業【戦略】 1,590 千円)	

29 都市間交流の促進

- 地域連携交流事業（企画調整課） 104 千円
- 連携中枢都市推進事業（都市戦略室） 3,107 千円

(5) 自治体経営の取組

総合計画の将来像の実現のため、成果向上に向けた多様な主体との連携の強化や低コストで高品質の市民サービスを提供するという、自治体経営の考え方を基本としたまちづくりを進めます。

方針1 市民参画や協働によるまちづくり

- 市政広報活動事業（広聴広報課） 87,749 千円

方針2 経営資源配分の最適化

- 庁舎管理事務（管財課） 323,214 千円
- IT活用推進事業（情報企画課） 10,499 千円
（RPA・AI-OCRの導入【新規】 10,353 千円）
- 電子入札システム運用事業（契約検査課） 4,733 千円
- 競争入札参加資格審査事務（契約検査課） 4,640 千円
- アセットマネジメント推進事務（資産経営課） 797 千円
- 証明書コンビニ交付サービス事務（市民登録課／総務事務） 14,889 千円
- マイナンバー制度導入事務（市民登録課） 93,943 千円

方針3 健全な財政運営の実現

- 市有土地活用事務（管財課） 4,652 千円
- 統一的な基準による地方公会計運用事務（財政課） 6,981 千円
- 賦課事務（市民税課・資産税課） 133,074 千円
- 収納率向上対策事業（納税課） 50,326 千円
- もりおか元気応援寄附金推進事業（ものづくり推進課） 49,455 千円

方針4 信頼される市政の確立

- 包括外部監査事業（総務課） 9,452 千円
- 職員採用事務（職員課） 1,290 千円
- 職員研修事務（職員課） 6,285 千円
- 派遣研修事務（職員課） 5,283 千円

方針5 自律した経営の推進

- 大学等との連携によるシンクタンク事業（企画調整課） 1,175 千円

(6) 公共施設保有最適化・長寿命化計画事業等

盛岡市では、平成 27 年度に策定した「公共施設保有最適化・長寿命化計画」に基づいて、施設の長寿命化等の事業に取り組んでいます。

令和 2 年度においては 27 施設、合計 35 億 1,871 万円の予算により大規模改修等の事業実施を予定しています（総合計画や辺地総合計画等、他の計画に位置付けられている事業も含まれます。なお、合築施設等があるため 22 事業となります）。

(ア) 加賀野地区活動センター外 2 施設複合化・大規模改修事業

■ 2 年度実施内容

：施設の複合化に係る地質調査業務委託

：施設の複合化及び大規模改修に係る基本設計業務委託

■ 予算額：17,930 千円（合計）

■ 所管課及び予算事業名並びに当該予算額

施設名	所管課	予算事業名	予算額
加賀野地区活動センター	市民協働推進課	加賀野地区活動センター外 2 施設複合化・大規模改修事業 (3 課共通事業名)	15,284 千円
加賀野老人福祉センター	長寿社会課		1,005 千円
加賀野児童センター	子ども青少年課		1,641 千円

(イ) 渋民文化会館・渋民公民館・渋民図書館長寿命化修繕事業

■ 2 年度実施内容：外壁修繕，屋根防水修繕，中央監視装置修繕，電源設備等修繕

■ 予算額：100,798 千円（合計）

■ 所管課及び予算事業名並びに当該予算額

施設名	所管課	予算事業名	予算額
渋民文化会館	文化国際課	渋民文化会館長寿命化修繕事業	53,216 千円
渋民公民館	生涯学習課	渋民公民館長寿命化改修事業	37,872 千円
渋民図書館		渋民図書館長寿命化改修事業	9,710 千円

(ウ) 総合プール改修事業（スポーツ推進課）

■ 2 年度実施内容：プール吊り天井等改修工事，外壁等改修工事，自動火災報知設備修繕等

■ 予算額：533,811 千円（総合プール改修事業）

(エ) ひまわり学園長寿命化改修事業（障がい福祉課）

■ 2 年度実施内容：エアコン設置，温水ボイラー更新，自動火災報知装置更新ほか

■ 予算額：6,421 千円（ひまわり学園長寿命化改修事業）

- (オ) 地域福祉センター長寿命化改修事業（長寿社会課）
- 2年度実施内容：排煙窓修繕，トイレ修繕，創作作業室他内壁修繕ほか
 - 予算額：36,173千円

- (カ) 愛宕山老人福祉センター解体事業（長寿社会課）
- 2年度実施内容：解体に係る実施設計業務委託
 - 予算額：7,403千円（愛宕山老人福祉センター解体事業）

- (キ) 上田老人福祉センター及び上田児童センター大規模改修事業
- 2年度実施内容：大規模改修工事
 - 予算額：150,463千円（合計）
 - 所管課及び予算事業名並びに当該予算額

施設名	所管課	予算事業名	予算額
上田老人福祉センター	長寿社会課	上田老人福祉センター 及び上田児童センター	53,354千円
上田児童センター	子ども青少年課	大規模改修事業 (2課共通事業名)	97,109千円

- (ク) 上飯岡児童センター集約化事業（子ども青少年課）
- 2年度実施内容：上飯岡児童センター解体工事
 - 予算額：20,229千円（上飯岡児童センター集約化事業）

- (ケ) 砂子沢生活改善センター移転新築事業（農政課）
- 2年度実施内容
 - ：新砂子沢生活改善センター新築設計
 - ：旧砂子沢生活改善センター解体設計
 - ：砂子沢小学校プール解体工事
 - 予算額：11,000千円（砂子沢生活改善センター移転新築事業）

- (コ) 庄ヶ畑地区振興センター大規模改修事業（農政課）
- 2年度実施内容：大規模改修工事
 - 予算額：32,695千円（庄ヶ畑地区振興センター大規模改修事業）

- (サ) 中津川地区振興センター解体事業（農政課）
- 2年度実施内容：施設解体工事
 - 予算額：9,675千円（中津川地区振興センター解体事業）

- (シ) 好摩地区コミュニティセンター大規模改修事業（玉山総合事務所総務課）
- 2年度実施内容：大規模改修工事
 - 予算額：82,155千円（好摩地区コミュニティセンター大規模改修事業）

- (ス) 玉山生活改善センター解体事業（産業振興課）
- 2年度実施内容：施設解体工事
 - 予算額：33,957千円（玉山生活改善センター解体事業）

- (七) 仁王小学校校舎長寿命化改修事業（教育委員会総務課）
 - 2年度実施内容：大規模改修工事（3カ年事業の1年目）
 - 予算額：374,402千円（仁王小学校校舎長寿命化改修事業）
- (ソ) 大新小学校校舎長寿命化改修事業（教育委員会総務課）
 - 2年度実施内容：大規模改修工事（3カ年事業の2年目）
 - 予算額：643,954千円（大新小学校校舎長寿命化改修事業）
- (タ) 城南小学校屋内運動場長寿命化改修事業（教育委員会総務課）
 - 2年度実施内容：長寿命化改修工事に係る実施設計業務委託
 - 予算額：10,197千円（城南小学校屋内運動場長寿命化改修事業）
- (チ) 城西中学校校舎長寿命化改修事業（教育委員会総務課）
 - 2年度実施内容：大規模改修工事（2カ年事業の1年目）
 - 予算額：416,574千円（城西中学校校舎長寿命化改修事業）
- (ツ) 北陵中学校校舎長寿命化改修事業（教育委員会総務課）
 - 2年度実施内容：大規模改修工事に係る基本設計及び構造体評価業務委託
 - 予算額：13,442千円（北陵中学校校舎長寿命化改修事業）
- (テ) 中央公民館第2展示室大規模改修事業（中央公民館）
 - 2年度実施内容
：中央公民館第2企画展示室（土蔵部分）改修工事（3カ年事業の2年目）
 - 予算額：17,224千円（中央公民館大規模改修事業）
- (ト) 図書館大規模改修事業（市立図書館）
 - 2年度実施内容
：大規模改修工事に係る実施設計業務委託
：展示実施設計業務委託
：エレベーター設置に係る地質調査業務委託
 - 予算額：54,118千円（図書館大規模改修事業）
- (ナ) 青山二・三丁目アパート建替事業（建築住宅課）
 - 2年度実施内容：青山三丁目アパート新5号館建築工事（駐車場整備を含む）
 - 予算額：354,249千円（公営住宅建設事業（青山二，三丁目アパート））
- (ニ) 市営住宅改修事業（建築住宅課）
 - 2年度実施内容：各種修繕工事に係る実施設計及び工事実施
 - 予算額：601,040千円（公営住宅ストック総合改善事業）
 - 施設名，実施内容及び当該予算額

アパート名	建物名	実施内容	予算額
青山西アパート	1・2号館	給水管改善（更生）実施設計	1,980千円
柿の木アパート	1～3号館	給水管改修（交換）実施設計	4,740千円

アパート名	建物名	実施内容	予算額
仙北西アパート	1号館	外壁・屋根改修工事	140,480 千円
	1・2号館	給水方式変更工事	
	2・3号館	外壁・屋根改修実施設計	
	10・11号館	給水管改善（更生）工事	
北厨川アパート	2・5号館	外壁・屋根改修工事	272,810 千円
	5・11・12号館	バルコニー・手摺改修実施設計	
		外壁・屋根改修実施設計	
	5・14号館	浴室改善実施設計	
9～14号館	給水方式変更工事		
前九年アパート	1号館	浴室改善工事	59,830 千円
	2号館	浴室改善実施設計	
法領田アパート	1・2号館	大規模計画改修工事	44,400 千円
川目アパート	1号館	給水管改修（交換）工事	76,800 千円
		浴室改善工事	



〒020-8530
岩手県盛岡市内丸 12 番 2 号
盛岡市財政部財政課
019-626-7515